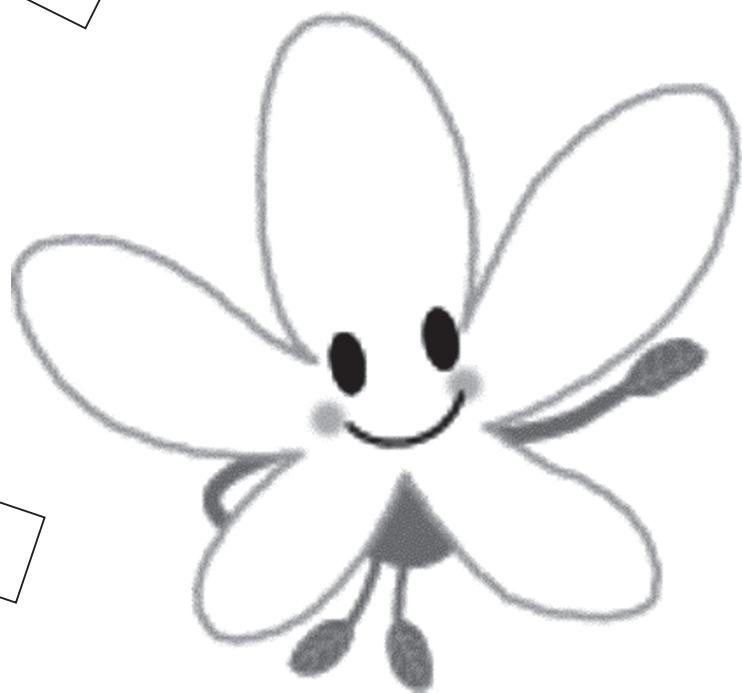


2014

なるほどあおば

データで見る青葉区

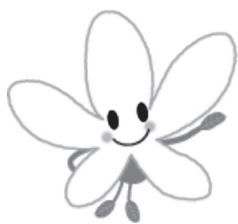


20
WE ♥ AOBA



横浜市青葉区役所

●なしかちゃん●



青葉区のマスコット

平成21年4月12日、青葉区制15周年を記念して、青葉区のマスコットが誕生しました。

区内の子どもたちから寄せられたデザインから、区民投票をもとに選ばれました。(ナシの花のイメージ)

また、あわせて募集した愛称の中から、「なしかちゃん」と名付けられました。



青葉区

青葉区のシンボルマーク

AOBAの文字を木のイメージに重ねて「丘の横浜」をシンボライズし、自然の持つ優しい雰囲気表現しました。

●区の木ヤマザクラ●



青葉区の「区の木・区の花」

平成16年11月6日、青葉区制10周年を記念して、区民の皆さまの投票をもとに「区の木・区の花」を制定しました。

●区の花ナシ●



便利な電話の相談窓口

横浜市コールセンター

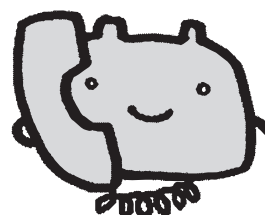
市役所や区役所のこと、どこに聞いたら良いかわからない時や、忙しくて自分で調べる時間がない時に、お気軽にお問合せください。

【電話】 **664-2525**

【F A X】 664-2828

【Eメール】 callcenter@city.yokohama.jp

【受付時間】 朝8時から夜9時まで 年中無休



にこりん

御利用にあたって

●構成比、総数等の合計については、端数を四捨五入してあるため必ずしも内訳計と一致しない場合があります。

●統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「-」……皆無、「△」……マイナス (-)

なるほどあおば
2014



～データで見る青葉区～
横浜市青葉区役所

目次

■ 青葉区的主要データ指標	2
1 位置・地勢・まち	4
2 人口・世帯	6
3 地域経済	17
4 特集～青葉区制20周年～	20
5 なるほど! あおばクオリティ	21
6 暮らし・生活・環境	22
7 福祉	30
8 衛生	33
9 国民年金・国民健康保険	34
10 教育・生涯学習	35
11 市税	37
12 戸籍・住民登録	38
13 選挙	39
14 防災	40
15 沿革	42

青葉区の主なデータ指標

青葉区の主な指標のデータについて、横浜市内の他区と比較したものです。

	項 目	青 葉 区	横 浜 市	18区中 順 位	18区の ベスト3	データ 基準日
①	行政区の面積 (km ²)	35.06	434.98	2	1. 戸塚区 2. 青葉区 3. 旭区	H25.6.1
②	人口 (人)	308,456	3,708,966	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 鶴見区	H26.6.1
③	世帯数 (世帯)	124,629	1,629,796	3	1. 港北区 2. 鶴見区 3. 青葉区	H26.6.1
④	1世帯あたり人員 (人)	2.47	2.28	4	1. 都筑区 2. 泉区 3. 瀬谷区	H26.6.1
⑤	人口密度 (人/km ²)	8,798	8,522	7	1. 南区 2. 西区 3. 港南区	H26.6.1
⑥	平成25年度中の 市外からの転入者 (人)	14,532	133,553	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 鶴見区	H25年
⑦	平成25年度中の 市外への転出者 (人)	15,189	132,953	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 鶴見区	H25年
⑧	平成24年度中の 出生児数 (人)	2,689	30,959	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 鶴見区	H25.3.31
⑨	昼夜間人口比率 (%)	77.2	91.5	18	1. 西区 2. 中区 3. 神奈川区	H22 (国勢調査)
⑩	区民の通勤先(通学も含む)のうち 東京都の占める割合 (%)	42.0	24.8	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 鶴見区	H22 (国勢調査)
⑪	私立中学進学予定者の割合 (%)	27.2	15.6	1	1. 青葉区 2. 西区 3. 中区	H26.2.15
⑫	帰国児童数[公立小学生] (人)	118	382	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 戸塚区	H25.5.1
⑬	平均年齢 (歳)	42.3	44.3	2 若い順	1. 都筑区 2. 青葉区 3. 港北区	H26.3.31
⑭	年少人口 (人) [15歳未満]	44,417	483,277	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 戸塚区	H26.3.31
⑮	年少人口比率 (%) [15歳未満]	14.5	13.0	2	1. 都筑区 2. 青葉区 3. 緑区	H26.3.31
⑯	生産年齢人口 (人) [15歳~64歳]	206,036	2,408,127	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 鶴見区	H26.3.31
⑰	生産年齢人口比率 (%) [15歳~64歳]	67.3	64.9	4	1. 西区 2. 港北区 3. 都筑区	H26.3.31
⑱	老年人口 (人) [65歳以上]	55,752	820,947	5	1. 旭区 2. 戸塚区 3. 港北区	H26.3.31
⑲	老年人口比率=高齢比率 (%) [65歳以上]	18.2	22.1	17	1. 栄区 2. 旭区 3. 磯子区	H26.3.31
⑳	1人暮らし高齢者数 [65歳以上]	6,971	132,016	12	1. 南区 2. 鶴見区 3. 港北区	H22 (国勢調査)
㉑	団塊の世代人口 (人) [65歳~67歳(昭和22年~24年生まれ)]	12,111	160,718	3	1. 港北区 2. 戸塚区 3. 青葉区	H26.3.31
㉒	平均寿命 (男性)	81.9	80.3	2 全国8位	1. 都筑区 2. 青葉区 3. 港南区	H22年
㉓	平均寿命 (女性)	88.0	86.8	1 全国20位	1. 青葉区 2. 緑区 3. 泉区	H22年
㉔	医療機関数 (病院・一般診療所)	283	3,085	2	1. 港北区 2. 青葉区 3. 中区	H24.10.1
㉕	有料老人ホーム (箇所数)	34	210	1	1. 青葉区、2. 都筑区、3. 戸塚区	H26.6.1
	(定員数)	2,395	13,895	1	1. 青葉区、2. 保土ヶ谷区、3. 都筑区	

青葉区の主なデータ指標



項目	青葉区	横浜市	18区中 順位	18区の ベスト3	データ 基準日	
②6 事業所数	5,891	103,328	7	1. 中区 2. 港北区 3. 神奈川区	H24.2.1	
②7 商店数 (卸・小売)	1,401	23,898	6	1. 中区 2. 港北区 3. 神奈川区	H24.2.1	
②8 製造業事業所(工業のみ)数 (従業員4人以上の事業所)	53	2,738	15	1. 港北区 2. 都筑区 3. 鶴見区	H24.12.31	
②9 納税者1人当り個人住民税額 [市民税・県民税] (円)	348,414	257,148	1	1. 青葉区 2. 都筑区 3. 中区	平成24年度	
③0 市税収入額(百万円)	36,940	701,226	7	1. 神奈川区 2. 中区 3. 西区	平成24年度	
③1 人口1,000人あたりの 被生活保護人員割合 (%パーミル)	7.9	19.1	1 少ない順	1. 青葉区 1. 都筑区 3. 港北区	平成26年4月	
③2 1,000世帯あたりの 被生活保護世帯割合 (%パーミル)	13.9	32.1	1 少ない順	1. 青葉区 2. 都筑区 3. 港北区	平成26年4月	
③3 乗用車の保有台数について(事業所含む)	90,083	972,146	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 戸塚区	H24.3.31	
③4 自治会町内会加入率(%)	75.3	76.6	13	1. 栄区 2. 金沢区 3. 瀬谷区	平成25年度	
③5 ヨコハマ3R夢(スリム) (推計値) 1人1日あたり燃やすごみの排出量(g)	407	417	6 少ない順	1. 港北区 2. 西区 3. 戸塚区	H26.3.31	
③6 【F30】 年間火災発生件数(速報値)	52	966	8 多い順	1. 鶴見区 2. 港北区 3. 中区	H25.12.31	
③7 土地利用 (市街化調整区域割合)(%)	27.5	24.1	8	1. 泉区 2. 緑区 3. 旭区	H26.2.5	
③8 農業	農家戸数(戸)	511	4,202	2	1. 都筑区 2. 青葉区 3. 泉区	H22.2.1
	耕地面積(a)	22,398	220,259	4	1. 泉区 2. 都筑区 3. 緑区	
③9 区画整理等の市街地	(地区数)	39	175	1	1. 青葉区 2. 神奈川区 3. 緑区	H26.5.19
	(面積km ²)	22.74	76.04	1	1. 青葉区 2. 緑区 3. 神奈川区	
④0 建築協定数	51	180	1	1. 青葉区 2. 金沢区 3. 港南区	H26.3.14	
④1 公園数	230	2,642	1	1. 青葉区 2. 戸塚区 3. 金沢区	H26.3.31	
④2 道路	総延長(km)	737	7,789	1	1. 青葉区 2. 戸塚区 3. 旭区	H25.4.1
	総面積(km ²)	5.8	57.4	1	1. 青葉区 2. 都筑区 3. 金沢区	
④3 道路率(%) (道路面積/行政区面積)	16.7	13.2	3	1. 西区 2. 都筑区 3. 青葉区	H25.4.1	
④4 街路樹数(本) (歩道並木)	15,519	87,866	1	1. 青葉区 2. 都筑区 3. 金沢区	H26.3.31	
④5 緑被率(%)	31.4	29.8	9	1. 緑区 2. 栄区 3. 泉区	平成21年度	
④6 海外で国政選挙ができる有権者数(人)	776	5,775	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 戸塚区	H26.6.2	
④7 国政選挙の投票率	衆議院選挙	64.41	60.50	1	1. 青葉区 2. 金沢区 3. 栄区	H24.12.16
	参議院選挙	57.83	55.54	3	1. 栄区 2. 金沢区 3. 青葉区	H25.7.21
④8 地方選挙の投票率	統一地方選挙	45.69	46.73	11	1. 金沢区 2. 瀬谷区 3. 栄区	H23.4.10
	市長選挙	27.46	29.05	15	1. 栄区 2. 泉区 3. 金沢区	H25.8.25
④9 犬の登録頭数(匹)	16,609	182,738	1	1. 青葉区 2. 港北区 3. 旭区	平成25年度末	

※本編のデータについては、年度ごとの比較等のため、異なるデータが掲載されていることがあります。

1 位置・地勢・まち

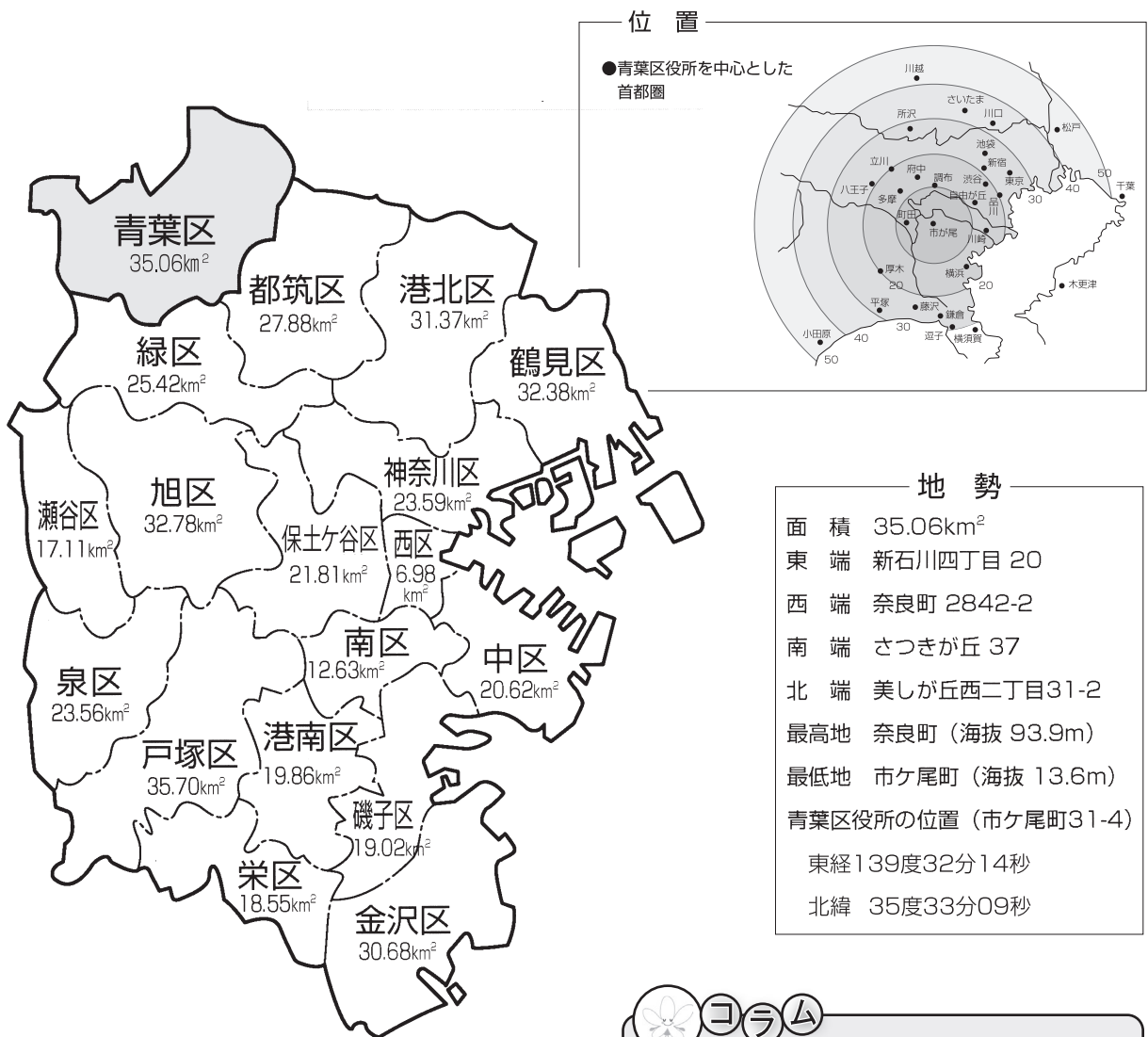
(1) 位置・地勢

～青葉区は、市の北西部に位置し、面積は市内で2番目に大きい～

青葉区は、平成6年11月6日に、行政区再編成を経て、港北区や緑区の一部から誕生した区です。面積は、35.06km²で、市内では、戸塚区に次いで2番目の広さとなっています。

位置的には、横浜市の北西部にあり、東は都筑区、西は町田市、南は緑区、北は川崎市に接しています。

地形的には「丘の横浜」と呼ばれるとおり、丘陵が多く、また、区の中央部を鶴見川が流れており、これに沿って豊かな田園風景が広がる自然豊かな場所であるという特色があります。



青葉区の区名

木々に囲まれた美しい街のイメージを表現しています。若い芽がいきいきと育つように、将来に向けて伸びやかに発展する区でありたいとの願いをこめて、公募により決定されました。



青葉区役所の誕生

平成6年11月6日、青葉区が誕生しました。平成7年には、地上4階、地下1階建ての現在の総合庁舎が完成しました。外観は山なみがモチーフ。この他に公会堂、スポーツセンターを併設し、青葉消防署、土木事務所が隣接しています。市ヶ尾周辺は、武蔵国都筑郡衙から千年余を経て再び行政施設の集まる場所となりました。

1 位置・地勢・まち



(2) まち

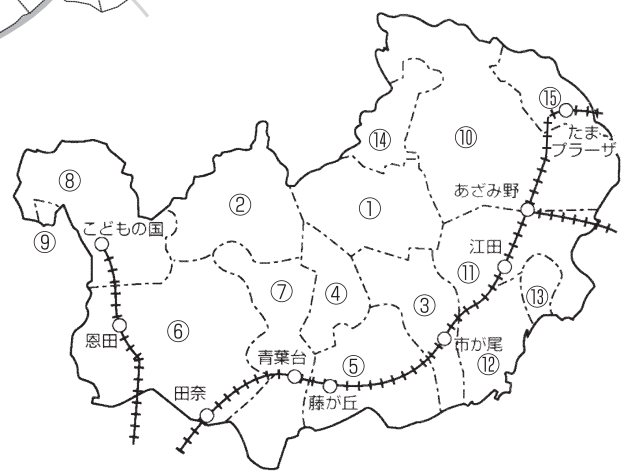
～青葉区の町名は、植物の名にちなんだものが多い～

青葉区が誕生したときには、町は73でしたが、その後の土地区画整理により、現在では79となっています。その中に、167の自治会と15の連合があります。ちなみに町名は、植物の名にちなんだ町名が多いのが特徴です。



🌸 コラム

ロケーション
 映画『男はつらいよ』の原典ともいえる、ドラマ『泣いてたまるか』には、開業したばかりの田園都市線「青葉台駅」周辺の風景が頻繁に出てきます。当時、渥美清さんは桜台の民家に滞在して撮影に臨んだといいます。



🌸 コラム

青葉区町名の由来
 「美しが丘」…美しかった区画整理前の丘陵地にちなんだもの。開発後も美しい街としての発展を願った。
 「青葉台」…開発前のこの付近が、松、檜、杉などの常緑樹に覆われていた大地だった。
 「松風台」…当時の流行歌「古城」の一説から取られたというエピソードがある。

青葉区自治会・町内会加入世帯数・加入率の推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
区内世帯数	119,074	120,378	120,672	122,768	122,988
自治会・町内会加入世帯数	90,951	90,661	91,124	92,133	92,651
自治会・町内会加入率	76.4%	75.3%	75.5%	75.0%	75.3%

※資料:青葉区地域振興課

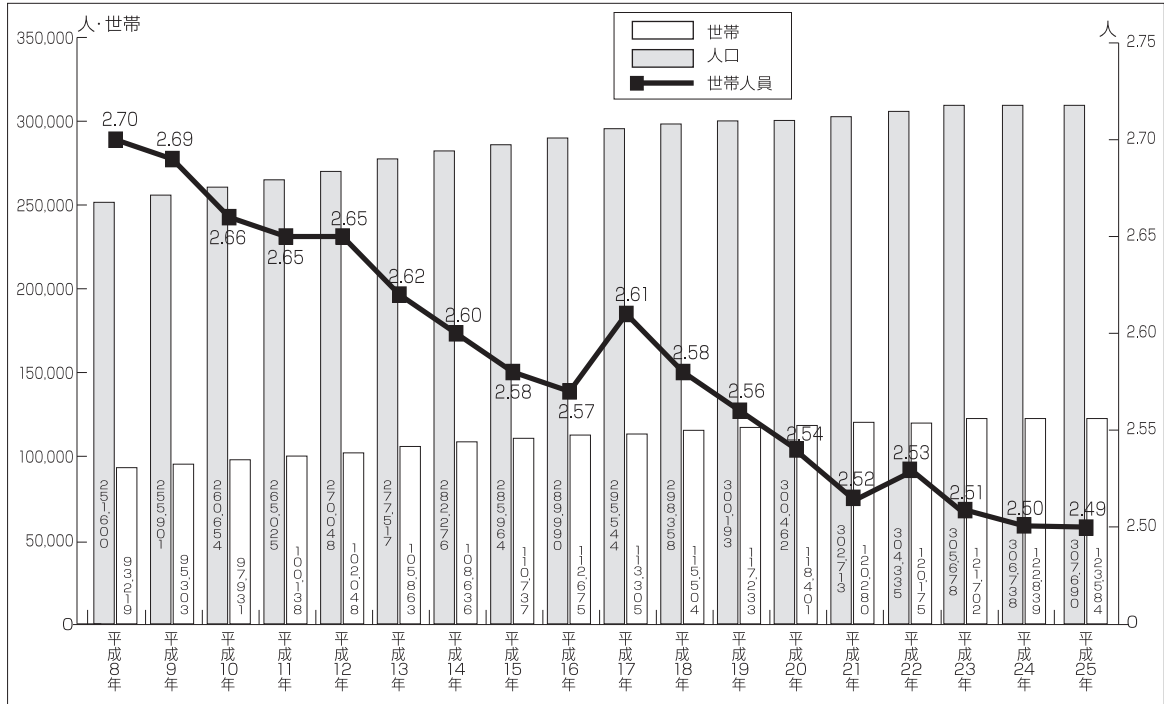
2 人口・世帯

(1) 人口・世帯の増減

～ 青葉区の世帯人員はわずかながら減少 ～

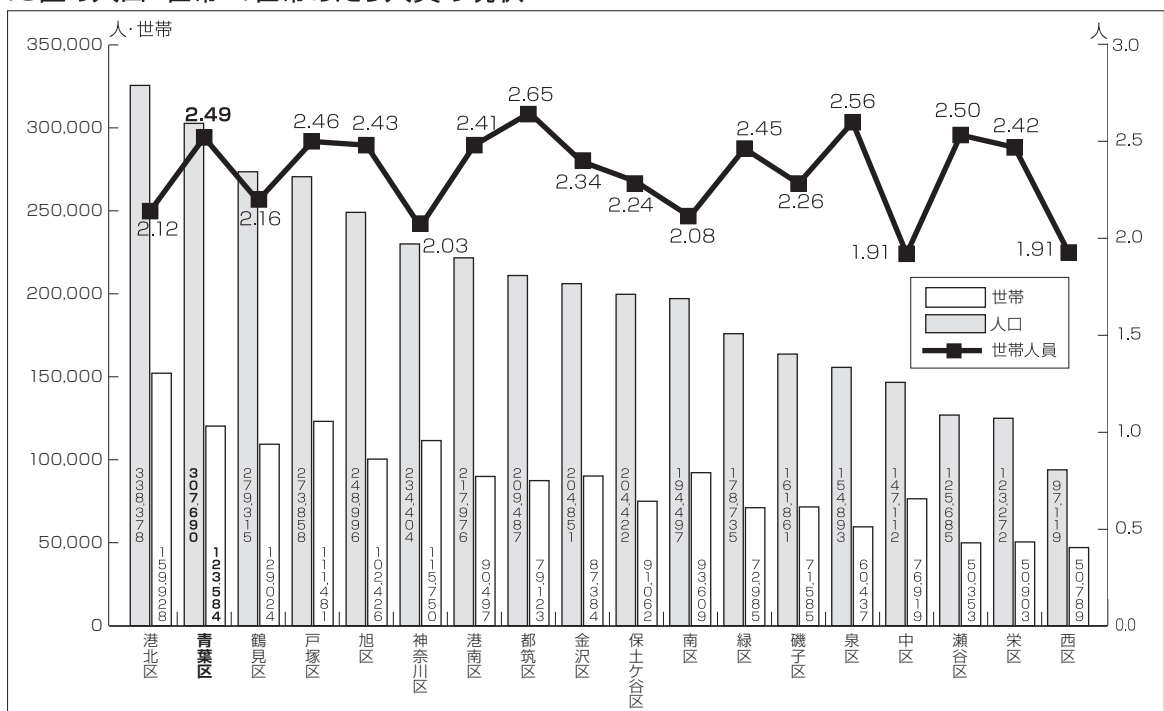
青葉区が誕生した平成6年12月時点の人口・世帯は、246,705人、92,402世帯でした。
平成19年5月には、人口30万人に達し、誕生以来、現在にいたるまで増加し続けています。
ただし、一世帯当たりの世帯人員は、平成23年からはわずかな減少が続いています。

●青葉区の人口・世帯・1世帯あたりの人員の推移



※資料：人口ニュース（平成25年10月1日現在）

●18区の人口・世帯・1世帯あたり人員の現状



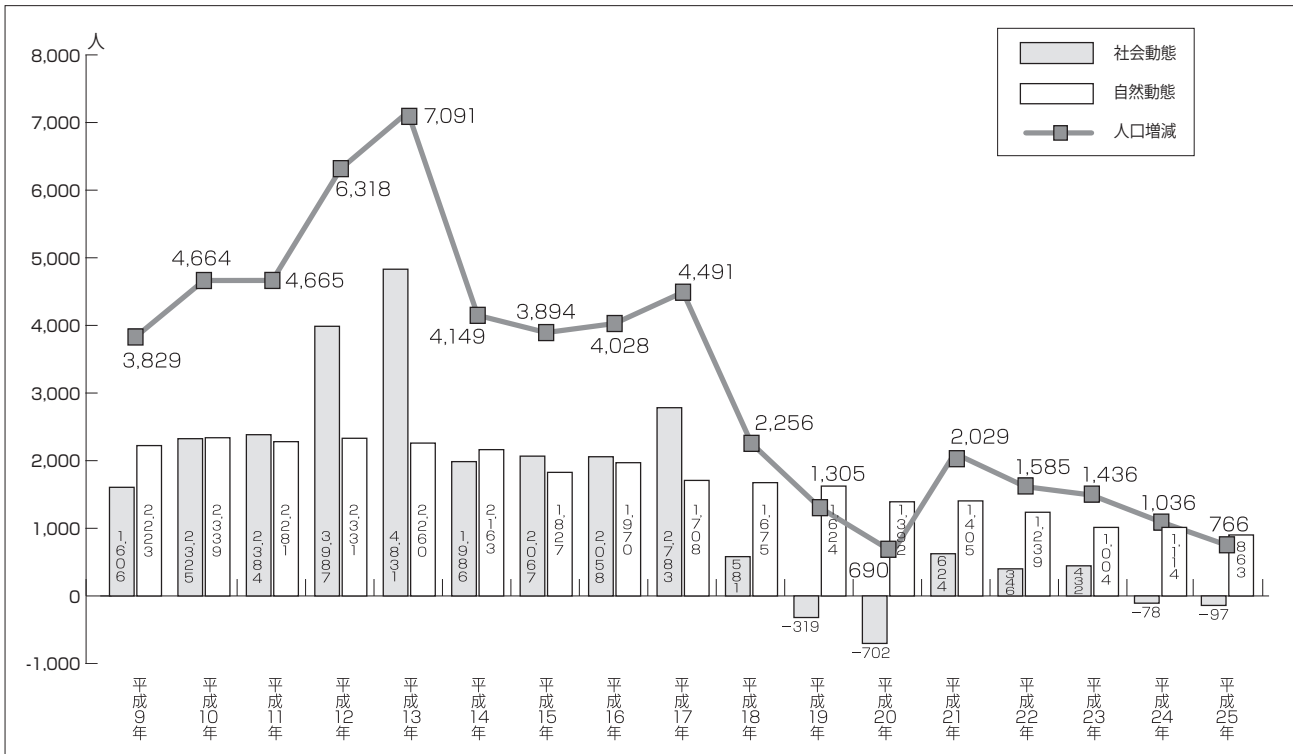
※資料：人口ニュース（平成25年10月1日現在）

(2) 社会動態・自然動態

～ 人口の伸びは、ここ最近では、平成13年がピーク～

青葉区内への転入・転出(社会動態)や、出生・死亡(自然動態)による人口の増減の移り変わりを見ていくと、増加の伸びは、平成13年がピークとなっておりますが、人口は緩やかに増加を続けています。

●青葉区の社会動態・自然動態・人口増減の推移



※資料：横浜の人口～平成25年中の人口動態と平成26年1月1日現在の年齢別人口～

※以下の「横浜市統計ポータルサイト」で、人口や世帯数の最新のデータがご覧になれます。

■ 推計人口

直近の国勢調査を基に、出生・死亡・転出入などを加減した人口です。

- 1 最新の人口ニュース(毎月更新)
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/jinko/news-i.html>
- 2 人口動態と年齢別人口(年1回更新)
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/jinko/dotai/new/index-i.html>
- 3 年齢(各歳・5歳階級)別男女別人口(年1回更新)
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/jinko/age/new/age-i.html>



青葉区が総務大臣賞に選ばれました

様々な統計データを得るために、区民の皆さまにも多くの統計調査にご協力を頂いています。平成25年に実施された「住宅・土地統計調査」において、青葉区はオンライン回答率が全国7位となり、総務大臣賞をいただきました。これも、すべてみなさまのご協力のおかげです。

2 人口・世帯

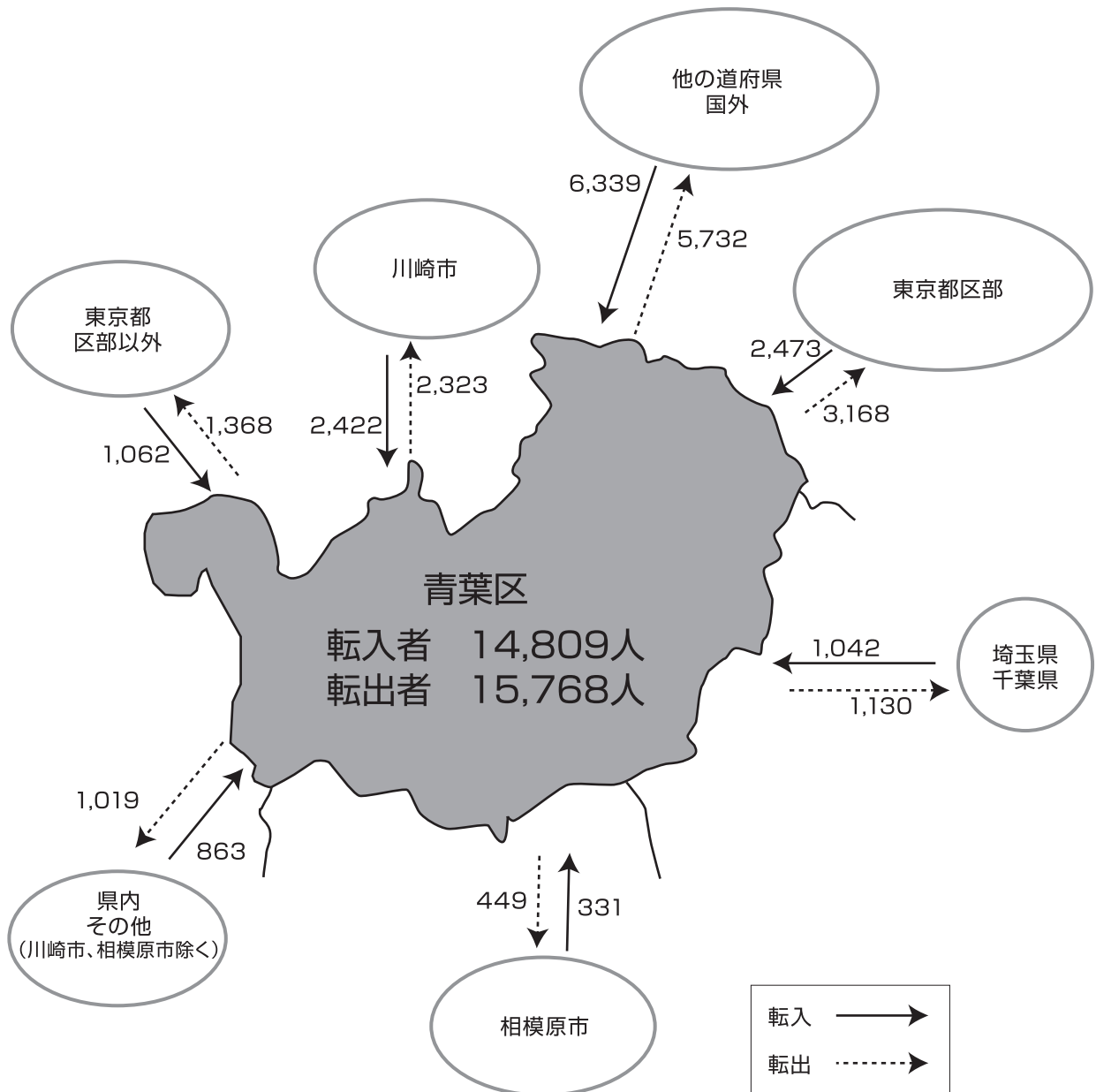
(3) 転入、転出

～ 青葉区の転出入は、市外では東京・川崎、市内では都筑区・緑区が多い ～

市外では、東京や川崎、市内では、都筑区や緑区との間で転出入する人が多く、異動する人の年代は、転入、転出とも20歳代～30歳代の人が大半を占めています。

●青葉区の市外転出入

(単位：人)

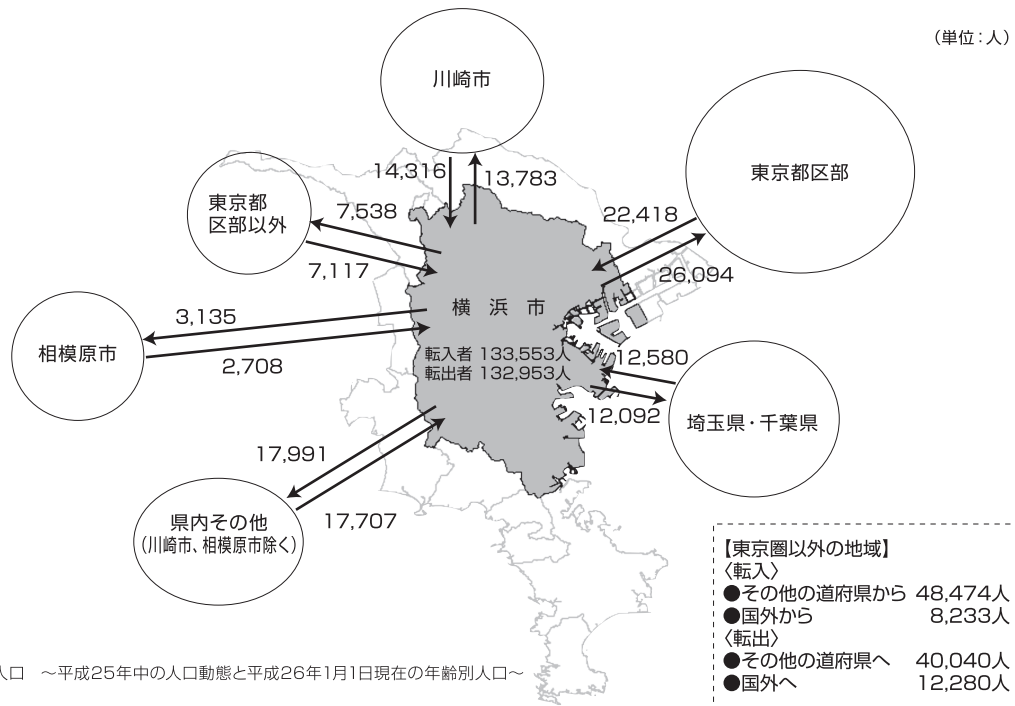


※資料：横浜の人口 ～平成25年中の人口動態と平成26年1月1日現在の年齢別人口～
 (上記の転入・転出者数は、地域不詳を含みます。)

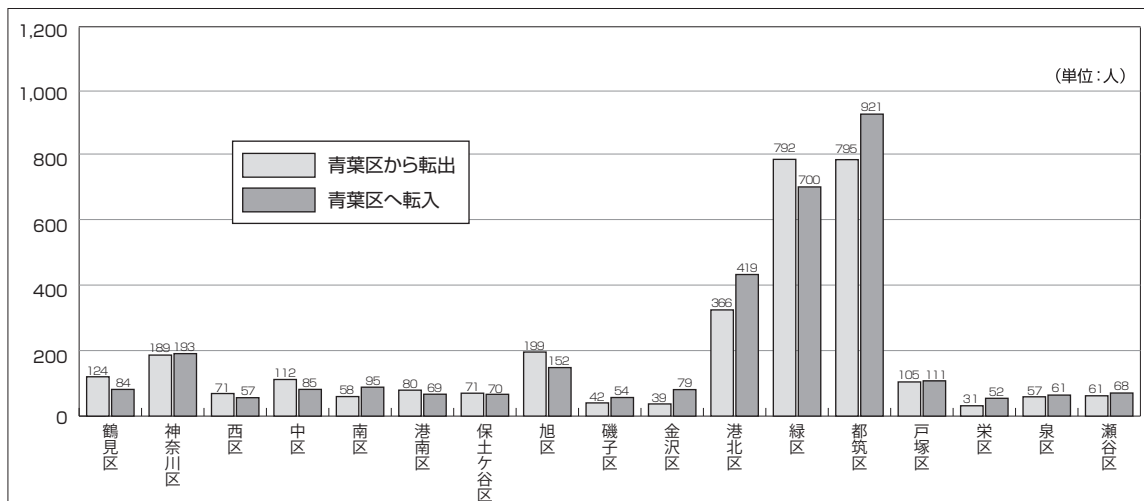
2 人口・世帯



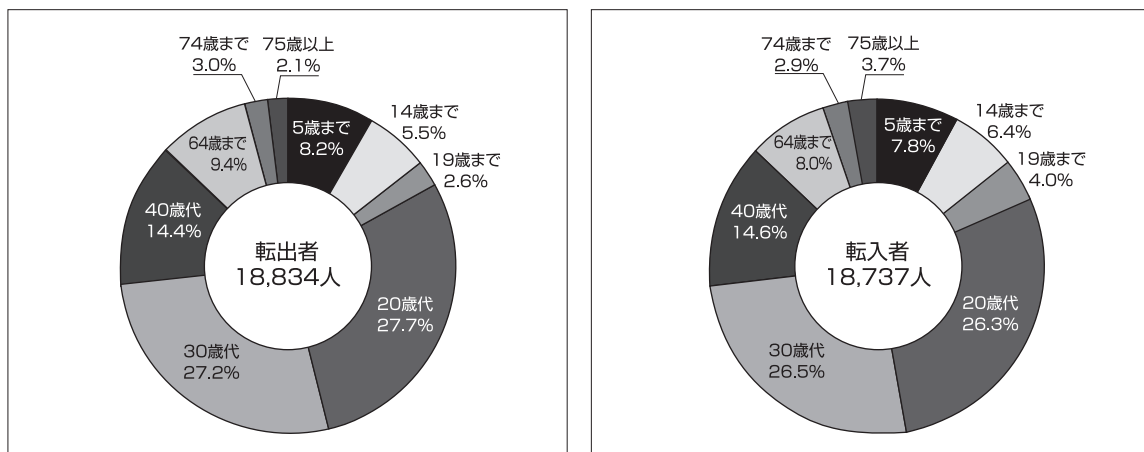
●横浜市の転出入



●青葉区と他区との異動



●青葉区の年齢別転出入 (市外・市内異動及びその他増減を含みます。)



2 人口・世帯

(4) 昼夜間人口

～ 青葉区は、夜間人口の割合が高い～

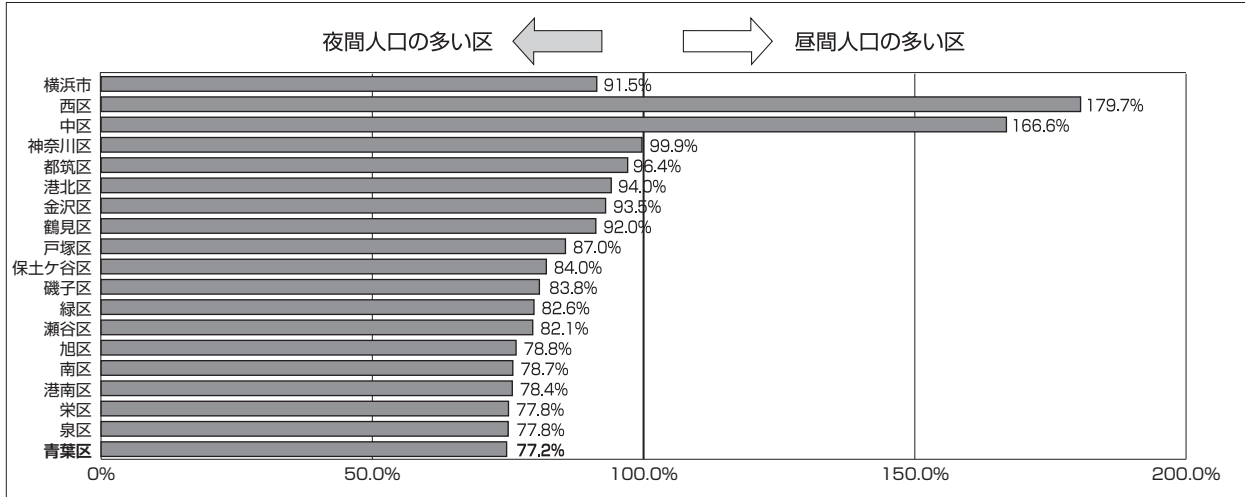
昼夜間人口比率とは、夜間（常住）人口100人あたりの昼間人口の割合です。

昼夜間人口比率が100を超える場合は、流出人口よりも流入人口が多く、昼間その地域に人が集まることを示します。

逆に昼夜間人口比率が100に満たない場合は、通勤・通学のために人が出かけていくことを示します。

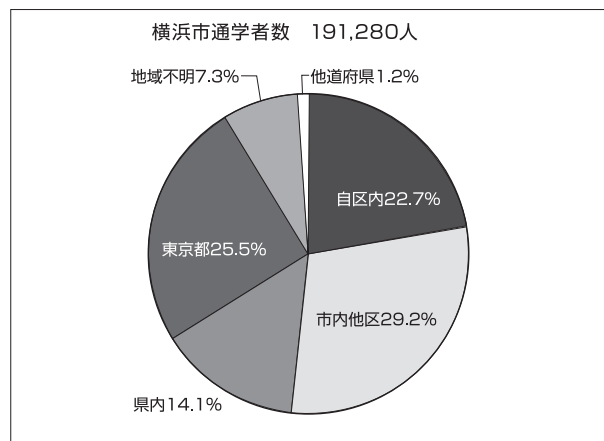
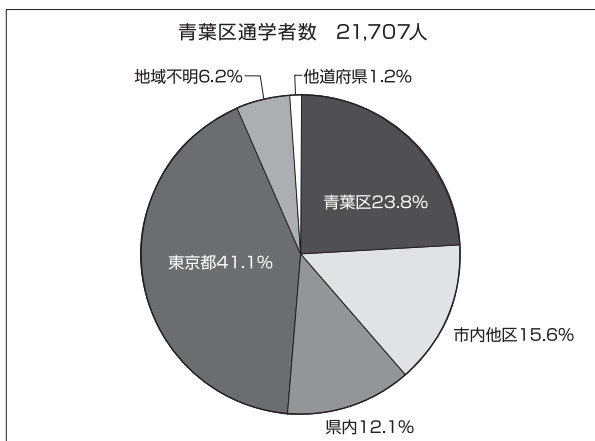
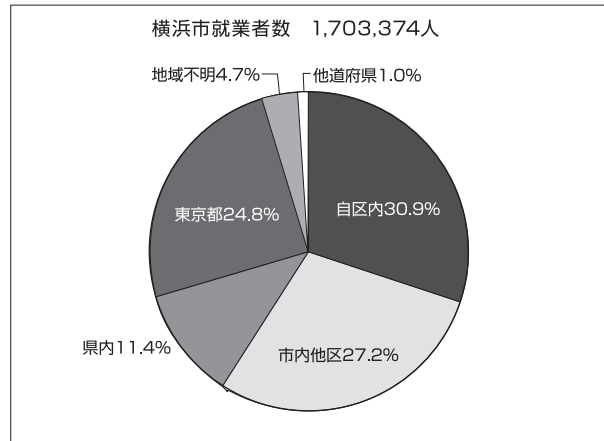
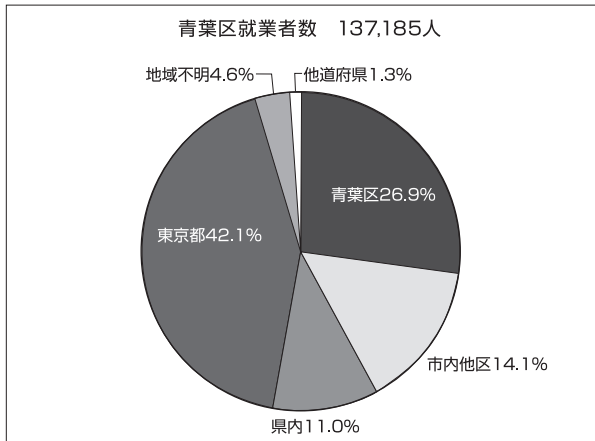
平成22年の国勢調査の結果では、青葉区の昼夜間人口比率は77.2%で、昼間は通勤・通学で出かけている人が多いことを示しています。

● 18区別の昼夜間人口比率



※資料：国勢調査（平成22年10月1日現在）

● 青葉区と横浜市の就業地・通学地の割合



※資料：国勢調査（平成22年10月1日現在）

2 人口・世帯

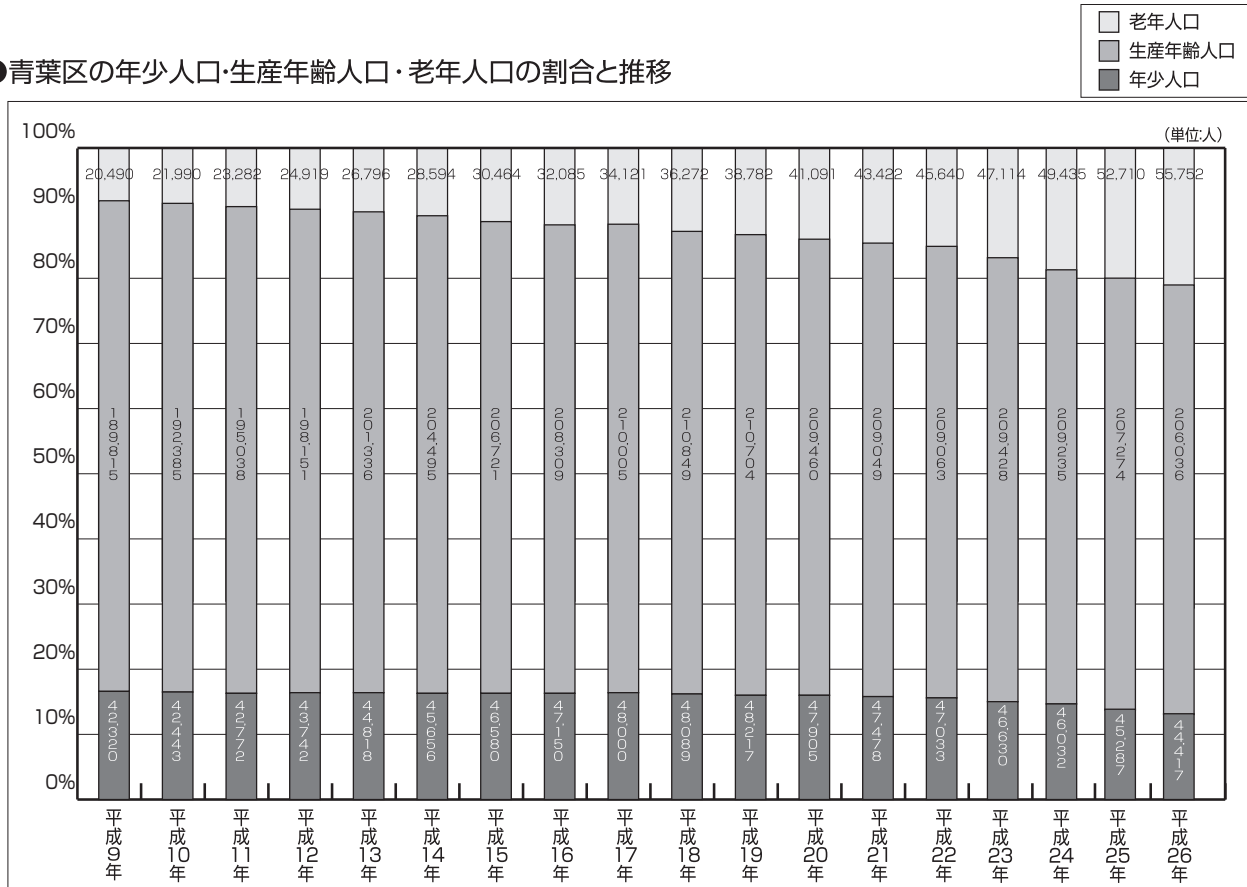
(5) 年齢3区分別人口の推移

～ 青葉区の老年人口は、年々増加している～

年齢3区分別人口とは、「年少人口(0～14歳)」、「生産年齢人口(15～64歳)」、「老年人口(65歳以上)」に分けて示すことをいいます。なお、青葉区の年少人口は、市内で一番多くなっています。

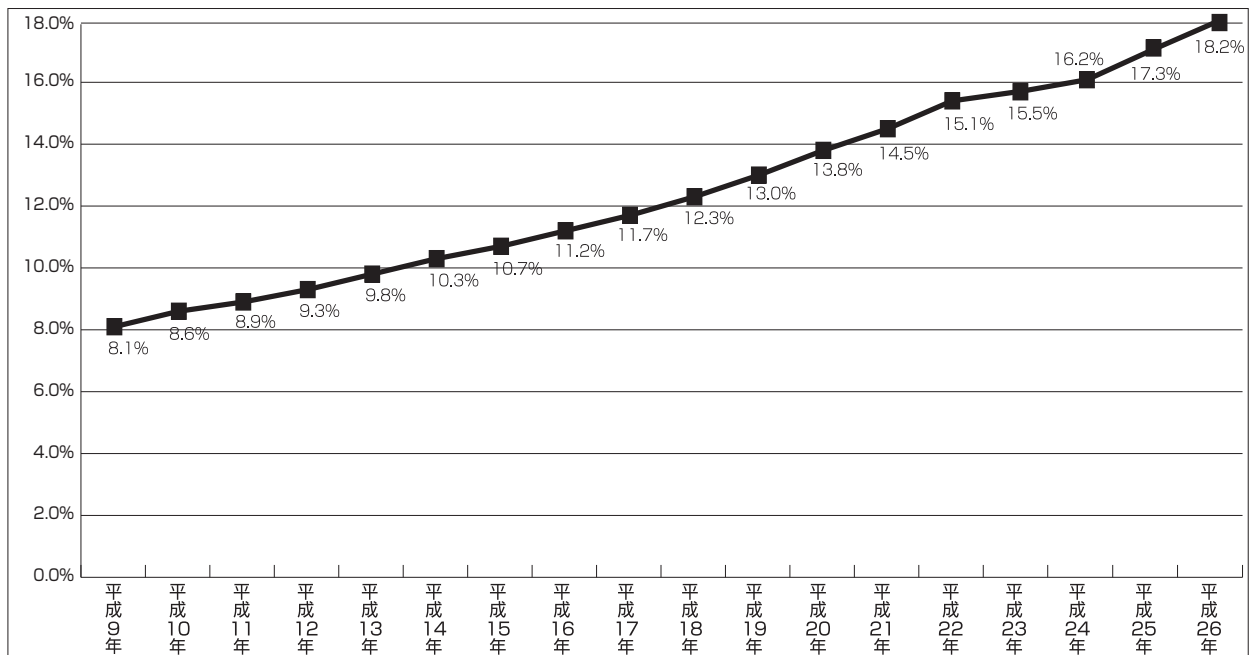
青葉区が誕生してからの高齢化率の推移を見てみると、年々上昇していることがわかります。

●青葉区の年少人口・生産年齢人口・老年人口の割合と推移



※資料：横浜市町別・年齢人口(各年とも、3月31日現在)

●青葉区の高齢化率の推移



※資料：横浜市町別・年齢人口(各年とも、3月31日現在)

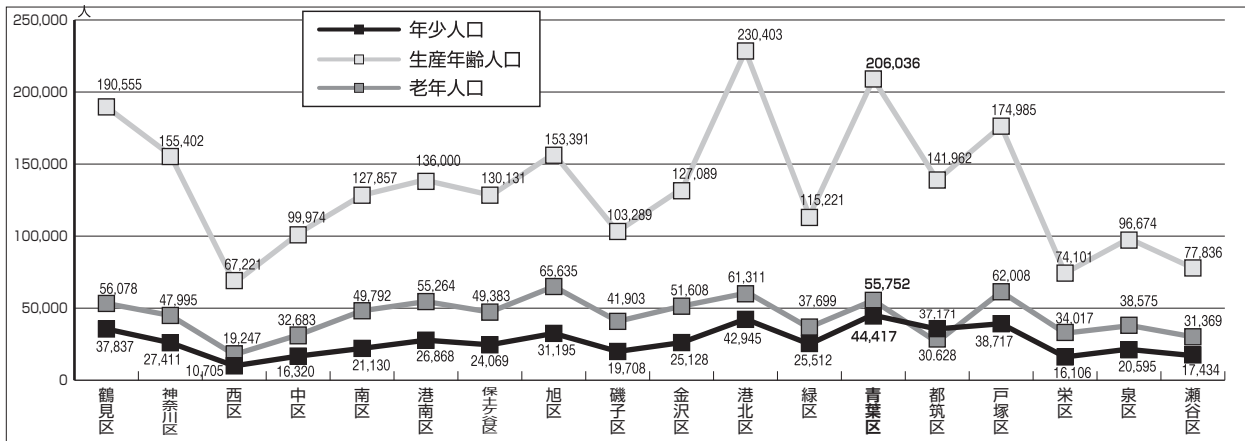
2 人口・世帯

(6) 18区別の年齢3区分別人口

～ 青葉区の年少人口（15歳未満）は市内でトップ～

年少人口は、市内で1番多く、また、生産年齢人口も市内で2番目となっています。
 老年人口は、市内で5番目で、前年の6番より1つ順位が上がっています。

●18区の年齢3区分別人口



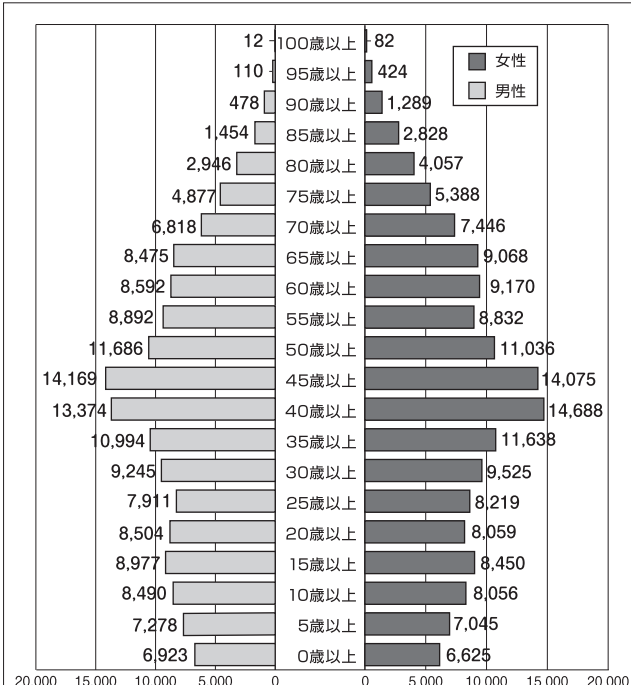
※資料：横浜市・各区分 年齢別男女別人口（平成26年3月31日現在）

(7) 年齢別の人口ピラミッド

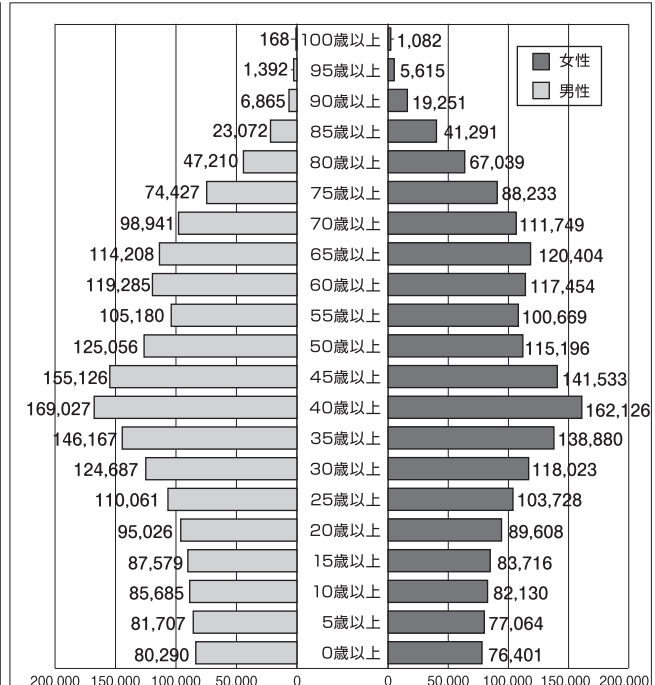
～ 青葉区の人口ピラミッドは団塊の世代に特徴がある～

青葉区の人口の構造の特徴は、第1次ベビーブーム（昭和22年～24年）の団塊の世代の比重が横浜市内のものより少なく第2次ベビーブーム（昭和46年～49年）の団塊ジュニアの年代の人口が中心となっています。

●青葉区の年齢別人口ピラミッド



●横浜市内の年齢別人口ピラミッド



※資料：横浜市・各区分 年齢別男女別人口（平成26年3月31日現在）

(8) 平均寿命の推移

	男性		女性	
	平均寿命(歳)	全国での順位	平均寿命(歳)	全国での順位
平成22年	81.9	8位	88.0	20位
平成17年	81.7	1位	88.0	7位
平成12年	80.3	3位	85.8	—

※資料：国勢調査・厚生労働省生命表

2 人口・世帯



高齢者数の伸び率が市内1位

青葉区の平均年齢は市内で2番目に若いですが、高齢者数の伸び率は5.79%で市内1位となっています。首都圏の高齢者人口も全国より高い伸び率となっており、国土交通省の平成24年度首都圏整備に関する年次報告によると都心や業務核都市等の拠点都市へ通勤・通学するための宅地化が進んだ地域であり、団塊の世代が多数居住していることから、急激に高齢者が増えていると考えられています。

(9) 平均年齢

～ 青葉区の平均年齢は、42.3歳で、市内で2番目に若い～

青葉区の平均年齢は、以下のとおり、都筑区の39.7歳に次いで、2番目に若い区となっています。なお、横浜市の平均年齢は、44.3歳となっています。(単位: 歳)

順位	区名	平均年齢	順位	区名	平均年齢	順位	区名	平均年齢
1位	都筑区	39.7	6位	西区	44.0	13位	港南区	46.0
2位	青葉区	42.3	8位	戸塚区	44.1	14位	金沢区	46.1
3位	港北区	42.5	9位	瀬谷区	45.0	15位	磯子区	46.2
4位	鶴見区	43.1	10位	泉区	45.3	16位	旭区	46.3
5位	緑区	43.4	11位	中区	45.5	17位	栄区	46.4
6位	神奈川区	44.0	12位	保土ケ谷区	45.7	18位	南区	46.6

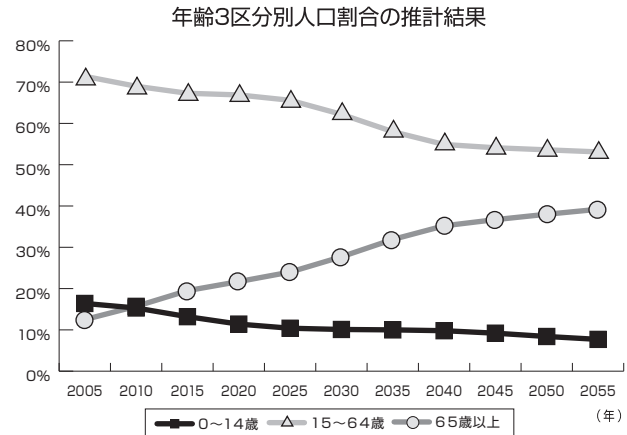
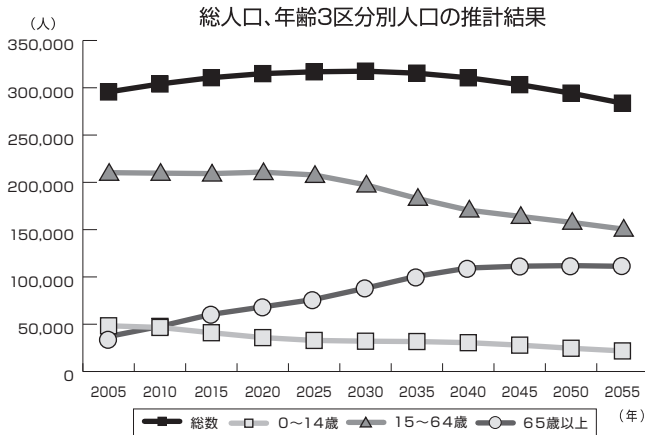
※資料: 横浜市・各区分 年齢別男女別人口 (平成26年3月31日現在)

(10) 将来人口推計

～ 2030年の青葉区の人口は、310,038人と推計される～

青葉区の人口は、今後10年程度は人口増加が続くと見込まれており、2030年の総人口は310,038人になると見込まれます。

年齢3区分別にみると、年少人口(15歳未満)は減少し続け、2030年の人口構成比は、10.8%になります。一方、老年人口(65歳以上)は、大幅に増加し、高齢化率は2030年で26.9%になると見込まれています。



総人口、年齢3区分別人口の推計結果

(単位: 人)

		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年	平成62年	平成67年	平成72年
		2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
人口	総数	304,297	308,861	311,409	311,688	310,038	306,334	302,693	298,912	291,836	281,753	269,736
	0～14歳	46,551	42,399	38,448	35,592	33,410	32,752	32,533	31,705	30,112	28,112	26,449
	15～64歳	209,420	207,348	207,312	203,482	193,197	178,436	167,524	161,996	158,771	155,217	150,196
	65歳以上	48,326	59,114	65,649	72,614	83,431	95,146	102,636	105,211	102,953	98,424	93,091
構成比	総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	0～14歳	15.3%	13.7%	12.3%	11.4%	10.8%	10.7%	10.7%	10.6%	10.3%	10.0%	9.8%
	15～64歳	68.8%	67.1%	66.6%	65.3%	62.3%	58.2%	55.3%	54.2%	54.4%	55.1%	55.7%
	65歳以上	15.9%	19.2%	21.1%	23.3%	26.9%	31.1%	34.0%	35.2%	35.3%	34.9%	34.5%

※資料: 横浜市将来人口推計

【参考】

この将来人口推計は、2010(平成22年)年国勢調査による人口及び世帯数を基準として、出生、死亡の将来値の推移を、高位、中位、低位の3つの仮定値を設定し組み合わせて推計しています。また、2036年以降のデータは、参考値です。

2 人口・世帯

(11) 青葉区の町丁別のデータ

町名	人 口			平均年齢	設置年月日
	年少人口	生産人口	老年人口		
青 葉 区 合 計	44,417	206,036	55,752	42.3	平成 6年 11月 6日
桂 台 一 丁 目	303	1,440	358	41.7	昭和57年 1月 10日
桂 台 二 丁 目	729	3,024	717	40.8	昭和57年 1月 10日
元 石 川 町	357	1,946	647	44.3	昭和14年 4月 1日
美 し が 丘 一 丁 目	601	3,024	1,135	45.1	昭和44年 1月 15日
美 し が 丘 二 丁 目	1,467	5,231	645	37.0	昭和44年 1月 15日
美 し が 丘 三 丁 目	343	1,605	828	47.8	昭和44年 1月 15日
美 し が 丘 四 丁 目	723	3,780	1,244	44.0	昭和47年 7月 26日
美 し が 丘 五 丁 目	651	3,414	661	40.7	昭和47年 7月 26日
荏 田 町	1,406	7,189	1,695	42.0	昭和14年 4月 1日
荏 田 北 一 丁 目	363	1,315	229	39.0	昭和53年 4月 29日
荏 田 北 二 丁 目	157	933	486	48.9	昭和53年 4月 29日
荏 田 北 三 丁 目	269	1,207	201	40.0	昭和53年 4月 29日
荏 田 西 一 丁 目	299	1,580	227	39.5	昭和58年 9月 11日
荏 田 西 二 丁 目	740	2,699	421	37.9	昭和58年 9月 11日
荏 田 西 三 丁 目	430	1,820	356	40.1	昭和58年 9月 11日
荏 田 西 四 丁 目	337	1,070	199	37.8	昭和58年 9月 25日
荏 田 西 五 丁 目	180	1,018	334	45.6	昭和58年 9月 25日
荏 子 田 一 丁 目	218	864	137	38.9	昭和59年 4月 29日
荏 子 田 二 丁 目	643	2,651	593	40.8	昭和59年 4月 29日
荏 子 田 三 丁 目	280	1,293	295	41.4	昭和59年 4月 29日
市 ケ 尾 町	2,223	12,434	3,586	43.7	昭和14年 4月 1日
下 谷 本 町	7	47	16	45.9	昭和14年 4月 1日
藤 が 丘 一 丁 目	1,064	5,452	1,231	41.4	昭和41年 11月 6日
藤 が 丘 二 丁 目	1,094	5,558	1,213	41.7	昭和41年 11月 6日
梅 が 丘 台	761	3,686	1,080	43.3	昭和41年 11月 6日
千 草 台	900	4,425	1,170	42.4	昭和43年 8月 6日
つ じ が 丘 台	837	3,930	1,023	42.5	昭和39年 3月 31日
ら と 田 台	1,137	5,408	1,316	41.4	昭和42年 11月 16日
恩 田 台	385	1,910	732	45.3	昭和14年 4月 1日
榎 が 丘 台	871	4,068	966	41.3	昭和42年 5月 5日
松 風 台	989	4,327	935	40.8	昭和42年 5月 5日
桜 台	902	4,843	1,452	44.2	昭和42年 5月 5日
青 葉 台 一 丁 目	424	2,561	1,197	48.0	昭和42年 5月 5日
青 葉 台 二 丁 目	909	3,337	610	38.2	昭和42年 5月 5日
若 草 台	433	2,211	796	45.1	昭和46年 1月 26日
田 奈 台	648	3,394	757	41.2	昭和46年 3月 26日
奈 良 一 丁 目	976	5,147	2,751	49.2	昭和14年 4月 1日
奈 良 二 丁 目	135	486	119	39.8	平成 8年 9月 30日
奈 良 三 丁 目	340	1,198	262	39.3	平成 8年 9月 30日
奈 良 四 丁 目	578	2,248	255	36.9	平成 8年 9月 30日
奈 良 五 丁 目	495	2,179	328	39.2	平成 8年 9月 30日
緑 山 台	414	1,678	271	38.5	平成 8年 9月 30日
上 谷 本 町	0	0	0	0.0	昭和53年 2月 1日
も え の 木 野 台	25	81	18	41.5	昭和14年 4月 1日
柿 木 野 台	525	2,495	864	43.6	昭和46年 1月 15日
み た け 台	636	3,457	1,189	44.7	昭和49年 9月 26日
成 合 台	685	3,303	1,004	43.4	昭和50年 9月 28日
成 合 台	0	28	27	59.9	昭和14年 4月 1日
た ち ば な 一 丁 目	471	2,151	559	42.3	昭和46年 1月 26日
た ち ば な 二 丁 目	416	2,026	685	43.8	昭和46年 1月 26日
鴨 志 田 町	1,031	5,217	2,175	45.7	昭和14年 4月 1日
寺 家 町	33	194	111	50.8	昭和14年 4月 1日
鉄 場 町	330	1,542	666	45.8	昭和14年 4月 1日
大 場 町	1,327	5,986	1,697	42.8	昭和14年 4月 1日
さ つ き の 木 丘 台	527	2,245	680	42.0	昭和45年 2月 26日
さ つ き の 木 丘 台	234	1,136	689	49.1	昭和48年 10月 26日
すすき野 一 丁 目	356	1,621	454	43.1	昭和48年 10月 26日
すすき野 二 丁 目	230	1,678	995	50.5	昭和48年 10月 26日
すすき野 三 丁 目	444	2,234	894	46.5	昭和48年 10月 26日
あざみ野 一 丁 目	541	2,886	612	41.8	昭和51年 1月 15日
あざみ野 二 丁 目	333	2,098	629	44.4	昭和51年 1月 15日
あざみ野 三 丁 目	592	3,055	1,338	46.6	昭和51年 1月 15日
あざみ野 四 丁 目	672	2,966	843	42.0	昭和51年 1月 15日
あ ず み よ し 台	686	3,110	838	41.4	昭和51年 7月 16日
新 石 川 一 丁 目	626	2,903	403	37.9	昭和54年 2月 18日
新 石 川 二 丁 目	539	2,692	506	40.1	昭和54年 2月 18日
新 石 川 三 丁 目	559	2,478	317	36.6	昭和54年 2月 18日
新 石 川 四 丁 目	658	3,058	527	39.6	昭和54年 2月 18日
黒 須 田 町	739	2,063	267	35.5	平成 元年 7月 16日
あ か ね 一 丁 目	420	1,995	455	41.8	平成 2年 2月 18日
あ か ね 二 丁 目	419	1,613	276	39.2	平成 2年 2月 18日
美 し が 丘 西 一 丁 目	491	1,448	224	36.8	平成 元年 11月 5日
美 し が 丘 西 二 丁 目	888	2,961	647	39.8	平成 元年 11月 5日
美 し が 丘 西 三 丁 目	782	3,156	1,037	43.5	平成 元年 11月 5日
あ ざ み 野 南 一 丁 目	342	1,147	96	35.4	平成 4年 9月 6日
あ ざ み 野 南 二 丁 目	263	1,190	179	38.6	平成 4年 9月 6日
あ ざ み 野 南 三 丁 目	168	686	162	41.9	平成 4年 9月 6日
あ ざ み 野 南 四 丁 目	236	676	87	36.2	平成 4年 9月 6日
み す ず が 丘	175	831	128	39.8	平成 7年 3月 16日

2 人口・世帯



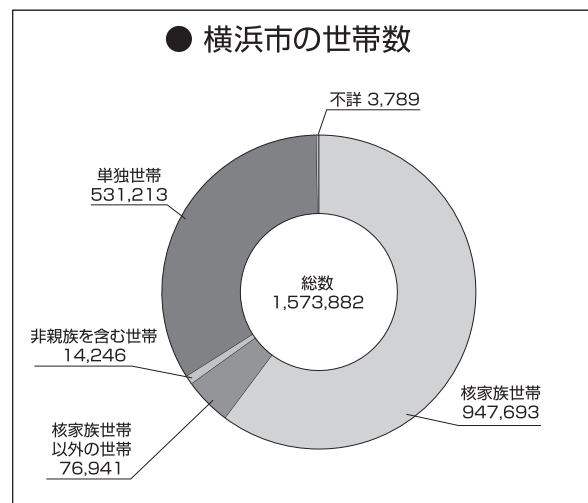
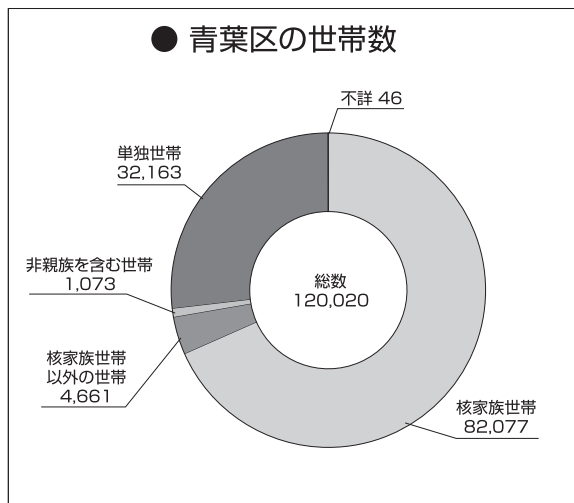
平成26年3月31日現在の登録者数

町名	面積 (km ²)	世帯数	人口			1世帯あたり人口 (人/世帯)	人口密度 (人/km ²)
			総数	男	女		
青葉区合計	35.060	129,479	306,205	150,205	156,000	2.36	8,734
桂台一丁目	0.217	867	2,101	1,007	1,094	2.42	9,682
桂台二丁目	0.398	1,739	4,470	2,238	2,232	2.57	11,231
元石川町	0.916	1,329	2,950	1,468	1,482	2.22	3,221
美しが丘一丁目	0.329	2,294	4,760	2,184	2,576	2.07	14,468
美しが丘二丁目	0.500	2,946	7,343	3,570	3,773	2.49	14,686
美しが丘三丁目	0.373	1,161	2,776	1,310	1,466	2.39	7,442
美しが丘四丁目	0.457	2,662	5,747	2,796	2,951	2.16	12,575
美しが丘五丁目	0.338	2,223	4,726	2,287	2,439	2.13	13,982
荏田町	1.122	4,545	10,290	5,021	5,269	2.26	9,171
荏田北一丁目	0.165	741	1,907	913	994	2.57	11,558
荏田北二丁目	0.178	750	1,576	804	772	2.10	8,854
荏田北三丁目	0.171	703	1,677	782	895	2.39	9,807
荏田西一丁目	0.245	1,043	2,106	1,176	930	2.02	8,596
荏田西二丁目	0.286	1,410	3,860	1,894	1,966	2.74	13,497
荏田西三丁目	0.213	953	2,606	1,245	1,361	2.73	12,235
荏田西四丁目	0.138	584	1,606	800	806	2.75	11,638
荏田西五丁目	0.158	567	1,532	734	798	2.70	9,696
荏子田一丁目	0.158	415	1,219	610	609	2.94	7,715
荏子田二丁目	0.347	1,355	3,887	1,907	1,980	2.87	11,202
荏子田三丁目	0.209	675	1,868	908	960	2.77	8,938
市ヶ尾町	2.007	8,405	18,243	8,822	9,421	2.17	9,090
下ヶ本	0.641	40	70	39	31	1.75	109
藤が丘一丁目	0.534	3,637	7,747	3,843	3,904	2.13	14,507
藤が丘二丁目	0.469	3,527	7,865	3,750	4,115	2.23	16,770
梅が丘	0.441	2,351	5,527	2,778	2,749	2.35	12,533
千草台	0.482	2,920	6,495	3,312	3,183	2.22	13,475
つじが丘	0.350	2,479	5,790	2,737	3,053	2.34	16,543
しんら	0.669	3,606	7,861	3,927	3,934	2.18	11,750
しんら	1.630	1,363	3,027	1,544	1,483	2.22	1,857
榎が丘	0.465	2,568	5,905	2,836	3,069	2.30	12,699
松風台	0.482	2,415	6,251	3,145	3,106	2.59	12,969
桜	0.512	3,022	7,197	3,421	3,776	2.38	14,057
青葉台一丁目	0.316	2,119	4,182	1,950	2,232	1.97	13,234
青葉台二丁目	0.318	2,116	4,856	2,356	2,500	2.29	15,270
若草台	0.285	1,370	3,440	1,663	1,777	2.51	12,070
田奈町	0.626	2,214	4,799	2,399	2,400	2.17	7,666
奈良一丁目	2.187	4,146	8,874	4,337	4,537	2.14	4,058
奈良二丁目	0.146	297	740	370	370	2.49	5,068
奈良三丁目	0.183	653	1,800	905	895	2.76	9,836
奈良四丁目	0.167	1,007	3,081	1,535	1,546	3.06	18,449
奈良五丁目	0.210	1,001	3,002	1,466	1,536	3.00	14,295
緑山	0.169	849	2,363	1,165	1,198	2.78	13,982
上谷本町	0.289	0	0	0	0	0.00	0
もえぎ野台	0.306	57	124	72	52	2.18	405
柿の木台	0.403	1,662	3,884	1,910	1,974	2.34	9,638
みたけ台	0.456	2,348	5,282	2,639	2,643	2.25	11,583
成合町	0.425	2,071	4,992	2,423	2,569	2.41	11,746
たちばな台一丁目	0.012	38	55	37	18	1.45	4,583
たちばな台二丁目	0.269	1,198	3,181	1,554	1,627	2.66	11,825
鴨志田町	0.267	1,372	3,127	1,637	1,490	2.28	11,712
寺家町	1.612	3,540	8,423	4,245	4,178	2.38	5,225
大場町	0.861	149	338	163	175	2.27	393
さつきが丘	1.707	1,108	2,538	1,280	1,258	2.29	1,487
もみ野	1.024	3,312	9,010	4,437	4,573	2.72	8,799
すき野一丁目	0.321	1,527	3,452	1,713	1,739	2.26	10,754
すき野二丁目	0.183	875	2,059	975	1,084	2.35	11,251
すき野三丁目	0.199	949	2,431	1,158	1,273	2.56	12,216
すき野四丁目	0.185	1,291	2,903	1,406	1,497	2.25	15,692
あざみ野一丁目	0.258	1,642	3,572	1,717	1,855	2.18	13,845
あざみ野二丁目	0.402	1,900	4,039	1,941	2,098	2.13	10,047
あざみ野三丁目	0.377	1,483	3,060	1,517	1,543	2.06	8,117
あざみ野四丁目	0.404	1,970	4,985	2,398	2,587	2.53	12,339
すみよし台	0.395	1,799	4,481	2,202	2,279	2.49	11,344
新石川一丁目	0.426	1,954	4,634	2,371	2,263	2.37	10,878
新石川二丁目	0.358	1,765	3,932	1,881	2,051	2.23	10,983
新石川三丁目	0.313	1,676	3,737	1,785	1,952	2.23	11,939
新石川四丁目	0.361	1,544	3,354	1,728	1,626	2.17	9,291
黒須田	0.255	1,855	4,243	2,190	2,053	2.29	16,639
あかね台一丁目	0.308	1,030	3,069	1,530	1,539	2.98	9,964
あかね台二丁目	0.305	1,073	2,870	1,435	1,435	2.67	9,410
美しが丘西一丁目	0.241	805	2,308	1,135	1,173	2.87	9,577
美しが丘西二丁目	0.221	745	2,163	1,050	1,113	2.90	9,787
美しが丘西三丁目	0.488	1,532	4,496	2,192	2,304	2.93	9,213
あざみ野南一丁目	0.474	1,853	4,975	2,411	2,564	2.68	10,496
あざみ野南二丁目	0.160	580	1,585	783	802	2.73	9,906
あざみ野南三丁目	0.145	667	1,632	782	850	2.45	11,255
あざみ野南四丁目	0.171	355	1,016	505	511	2.86	5,942
みすしが丘	0.148	322	999	510	489	3.10	6,750
みすしが丘	0.122	365	1,134	539	595	3.11	9,295

2 人口・世帯

(12) 世帯類型 (国勢調査から【平成22年10月1日現在】)

～青葉区の世帯数は、18区中3番目に多い～

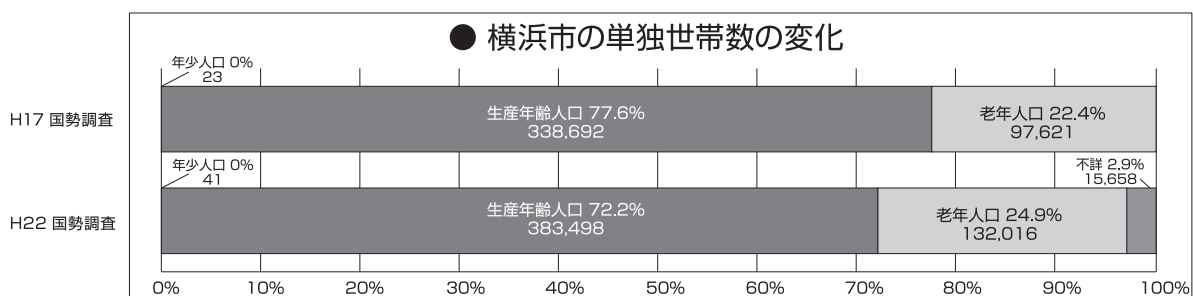
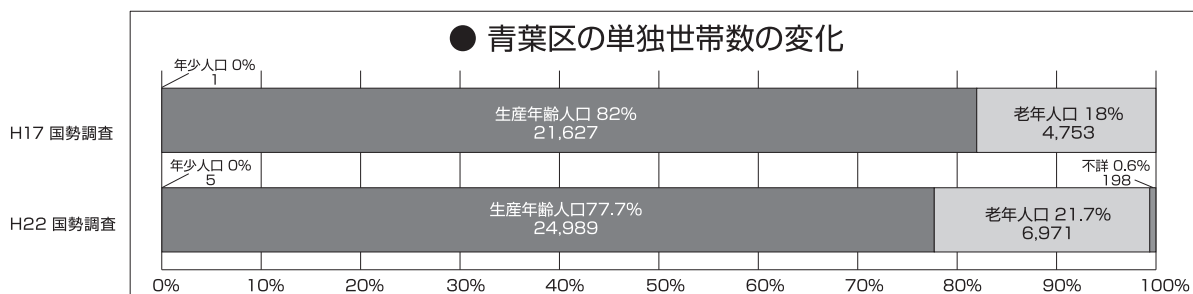


※資料：H22 国勢調査

※世帯数は、寄宿舎や寮、施設、病院、老人ホームなどに入院・入所している世帯を除いたものです。

～青葉区の単独世帯数のうち、65歳以上の高齢者単身世帯は、21.7%となっている～

横浜市と青葉区の単独世帯数の変化をみると、H17年国勢調査からH22年国勢調査までの間で、老年人口の割合は、確実に上昇していることがうかがえます。また、横浜市のH17年からH22年までの老年人口の増加率は、2.5%であるのに対し、青葉区は3.7%と、平均よりもやや高めとなっています。



青葉かがやく生き生きプラン (第2期地域福祉保健計画) 推進中!

核家族化が進み、少子高齢社会となり、人々の価値観や生活スタイルが多様化しています。そのため、住民同士のつながりが希薄化してきていると感じている人も多くなってきています。お互いの顔が見え、支えあい安心して暮らせるまちになるよう「青葉かがやく生き生きプラン」を推進しています。今年度は、第3期計画の策定に向けて第2期計画を振り返り、地域の皆さんと意見交換する場を設ける予定です。

3 地域経済



(1) 経済センサスから

～ 青葉区の教育・学習支援業や医療・福祉の事業所数は、市内でもトップクラス ～

青葉区内の事業所数は、卸売・小売業が一番多くなっていますが、教育・学習支援業が市内で1位、医療・福祉の事業所が市内3位の多さとなっています。

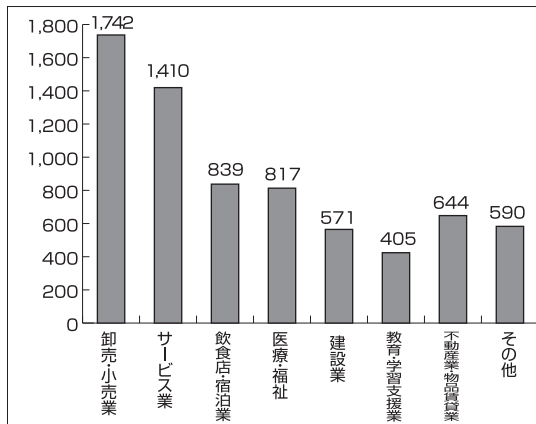
なお、青葉区の事業所数及び従業者数は、調査実施年のデータで比較すると少しずつ増加しているという結果となっています。

●青葉区の事業所数・従業者数

	事業所数	従業者数 (人)
平成24年	7,018	72,800

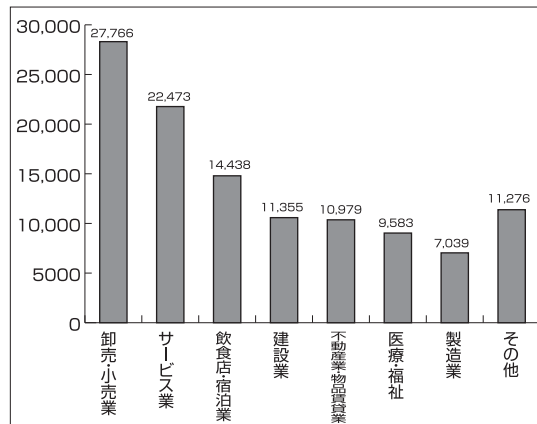
平成24年2月1日現在

●青葉区の事業所数



平成24年2月1日現在

●横浜市内の事業所数



平成24年2月1日現在

●青葉区の町丁別事業所トップ20

順位	町丁名	事業所数	順位	町丁名	事業所数
1位	市ケ尾町	618	11位	しらとり台	188
2位	青葉台二丁目	435	12位	美しが丘五丁目	185
3位	美しが丘一丁目	306	13位	藤が丘二丁目	179
4位	青葉台一丁目	267	14位	奈良町	164
5位	美しが丘二丁目	243	15位	鉄町	147
6位	荏田町	232	15位	大場町	142
7位	あざみ野二丁目	214	17位	田奈町	133
8位	鴨志田町	199	18位	新石川一丁目	130
9位	藤が丘一丁目	192	18位	美しが丘四丁目	129
10位	あざみ野一丁目	191	20位	柿の木台	121

平成21年7月1日現在

3 地域経済

(2) 工業統計調査から（平成24年12月31日現在）

～ 青葉区の工業事業所数は、市内で3番目に少ない～

青葉区の工業事業所は、他区と比べると工業の用途地域がないことから事業所数は少ない方です。平成22年は前年に比べ、事業所数、従業者数は減少しています。

●青葉区の工業事業所数・従業者数等

青葉区

	事業所数	従業者数 (人)	製造品 出荷額 (百万円)	付加価値額 (百万円)
平成20年	72	1,749	29,060	11,971
平成21年	59	1,511	22,972	8,902
平成22年	48	1,187	15,363	7,266
平成24年	53	1,434	19,847	9,698

横浜市

	事業所数	従業者数 (人)	製造品 出荷額 (百万円)	付加価値額 (百万円)
平成20年	3,513	111,826	3,579,828	1,354,795
平成21年	3,001	103,383	3,288,715	1,112,173
平成22年	2,800	100,203	4,070,210	1,208,675
平成24年	2,738	96,778	4,011,055	1,125,685

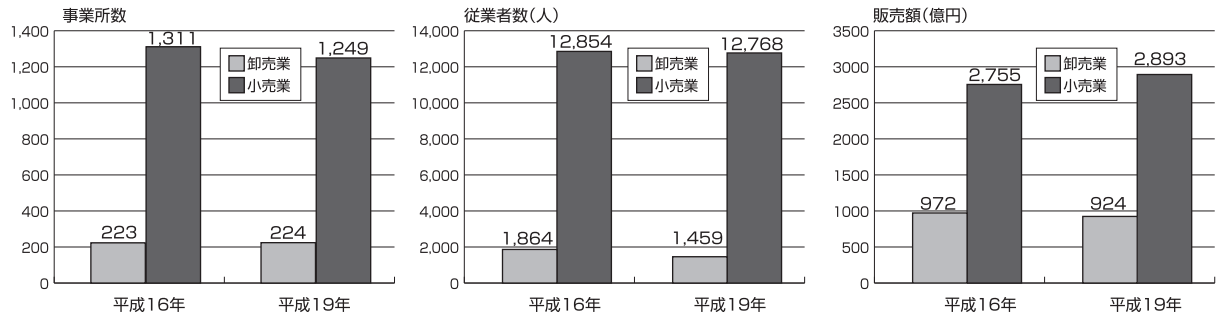
※平成23年は、工業統計調査は行われていません。

(3) 商業統計調査から（平成19年6月1日現在）

～ 青葉区の商業の事業所数、従業者数は減少。販売額はやや増加～

平成19年における青葉区の商業（卸売業、小売業）は、平成16年に比べ、事業所数、従業者数は減少傾向にありますが、年間商品販売額はやや増加しています。

●青葉区の事業所数・従業者数・年間商品販売額



●青葉区の町丁別商業の事業所数トップ20

順位	町丁名	卸売業	小売業	総数	順位	町丁名	卸売業	小売業	総数
1位	市ケ尾町	29	118	147	10位	美しが丘二丁目	4	31	35
2位	青葉台二丁目	4	130	134	12位	柿の木台	2	30	32
3位	美しが丘一丁目	4	94	98	12位	鴨志田町	5	27	32
4位	青葉台一丁目	6	72	78	14位	藤が丘二丁目	5	26	31
5位	荏田町	16	41	57	15位	美しが丘五丁目	4	25	29
6位	あざみ野一丁目	6	44	50	16位	新石川一丁目	7	19	26
7位	あざみ野二丁目	1	44	45	16位	奈良一丁目	1	25	26
8位	藤が丘一丁目	6	35	41	16位	奈良町	2	24	26
9位	しらとり台	8	31	39	19位	田奈町	3	22	25
10位	桜台	2	33	35	20位	美しが丘四丁目	-	24	24



(4) 2010年農林業センサスから(平成22年2月1日)

～ 青葉区の農家数は、市内で2番目に多い～

●農家数・従業者数・経営耕地面積

	農家数(戸)	農家数(戸)			農業従事者数 (販売農家) (人)	経営耕地面積 (a)	農家一戸あたりの 経営耕地面積 (a / 戸)
		販売農家	専業	兼業			
青葉区	511	245	86	159	694	22,398	43.8
横浜市	4,202	2,430	1,013	1,417	7,080	220,259	52.4

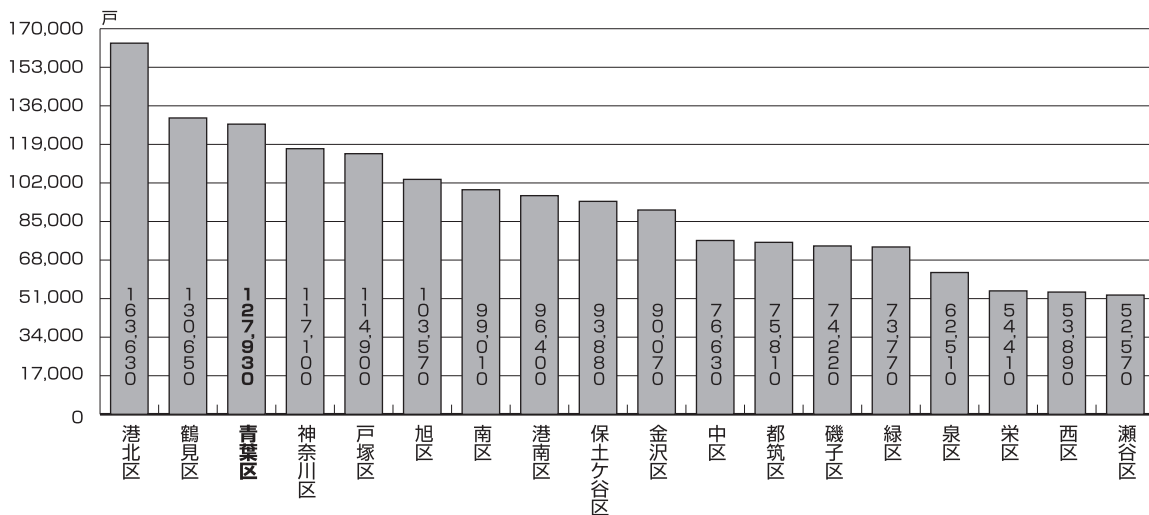
※資料:「2010年 農林業センサス農林業経営体調査結果報告」

注) 平成22年2月1日現在の経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても調査期日前1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯を農家としています。

(5) 住宅・土地統計調査から(平成20年10月1日)

～ 青葉区の住宅数は、市内で3番目に多い～

●18区別の住宅数



住宅の耐震化支援制度

昭和56年5月末日以前に建築確認を得て着工した、木造個人住宅・分譲マンションが対象です。

【木造個人住宅】

- 耐震診断 耐震診断を無料で行います。
- 耐震改修 耐震改修が必要と診断された住宅の改修費用の一部を補助します。
平成26年9月30日までに補助の申請をした場合
補助限度額:150万円(世帯員全員が過去2年間非課税の場合は225万円)
平成26年10月1日以降に補助の申請をした場合
補助限度額:75万円(世帯員全員が過去2年間非課税の場合は115万円)

【分譲マンション】

- 予備診断 簡易な耐震診断を無料で行います。
- 本診断 (精密診断) 予備診断の結果、「本診断(精密な診断)が必要」と診断された場合、本診断の費用の一部を補助します。
補助率:本診断にかかった費用の2/3
- 耐震改修 耐震改修が必要と診断された場合、改修費用の一部を補助します。
補助率:耐震設計費の2/3
耐震補強工事費の1/3(上限あり)
※平成26年度の内容を掲載しています。制度の内容は、年度ごと又年度中に変更される場合があります。
(問合せ:横浜市建築局建築防災課 電話671-2943 FAX641-2756)

4 特集 ～青葉区制20周年～

今年の11月6日に、区制20周年を迎える青葉区。

「区民の皆さんとともに、区制20周年をこんな年にしたい!!」という思いをお伝えします。

1 区制20周年の目的

20年間の軌跡を振り返り、また、未来につながる取組を行うことで、区民がさらに地域への愛着やまちづくりに対する意識を持ち、地元への連帯感の醸成を進めるなど、「住みつけたいまち『青葉』」の実現を目指します。

2 記念イベントの開催

平成26年を通して、さまざまな記念イベントを開催します。



5・6月

- ★5/17 あおば音楽ひろば【ジュニアフェスティバル】
オーディション(フィリアホール)
- ★5/25 区民グラウンドゴルフ大会(青葉スポーツ広場)
- ★6/21 大都市制度フォーラム(青葉公会堂)



7～9月

- ★7/6 コーラスのつどい(青葉公会堂)
- ★7/10 ジャズコンサート(青葉公会堂)
- ★7/15～27 横浜北部美術公募展(アートフォーラムあざみ野)
- ★7/24 森内竜王と将棋対戦(青葉公会堂)
- ★7/26他 区民招待室内楽コンサート(フィリアホール)
- ★7/28、29 横浜港施設見学会にご招待(横浜港)
- ★8/1 劇団かかし座による影絵劇(青葉公会堂)
- ★8/3 あおば大学まつり(青葉公会堂)
- ★9/7 東アジア文化都市2014横浜～日・中・韓 絃の響き～(フィリアホール)
- ★9/27 郷土史の会による青葉歴史講演会①(青葉区役所)
- ★9/28 ファミリンピック2014(スポーツ広場)



10～12月

- ★10/18 20周年記念ウオーキング大会(青葉スポーツセンタースタート)
- ★10/18 青葉ふれあい運動会(青葉スポーツセンター)
- ★10/21 青葉区制20周年ゴルフ大会
- ★10/25 郷土史の会による青葉歴史講演会②(青葉区役所)
- ★11/1 記念式典・祝賀会開催、記念DVD発表
(青葉公会堂・青葉スポーツセンター)
- ★11/3 区民まつり(青葉区役所)
- ★11/6 松本絃佳さんによるバイオリンリサイタル
(フィリアホール)
- ★11/7 NHK上方演芸会公開収録(青葉区公会堂)
- ★11/9他 区民音楽祭(青葉公会堂他)
- ★11/30 区民マラソン大会(青葉区役所スタート)
- ★12/2～7、9～14 区民作品展(アートフォーラムあざみ野)
- ★12/13 区民芸能祭(青葉公会堂)

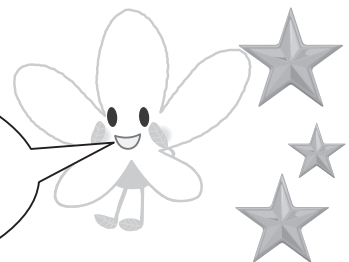
※イベントについては、平成26年5月20日時点のものです。

※イベントの詳細は、広報よこはま青葉区版、青葉区ホームページ等をご覧ください。

3 つながりから協働を目指して ～今後の青葉区の展望～

区制20周年を契機に、より多くの地域、団体、企業等と『つながり』を作り、地域課題の解決に向けて、地域、団体、企業等と区役所がともに取り組み『協働』を目指して取り組んでまいります。

横断幕、のぼり旗等の掲出、記念ピンバッジ購入による寄付、文化・芸術イベントへの区民招待、記念ラッピングカーの運行、協賛金など多くの支援・寄付をいただいております。区制20周年をきっかけに地域、団体、企業等とのつながりが広がっています。



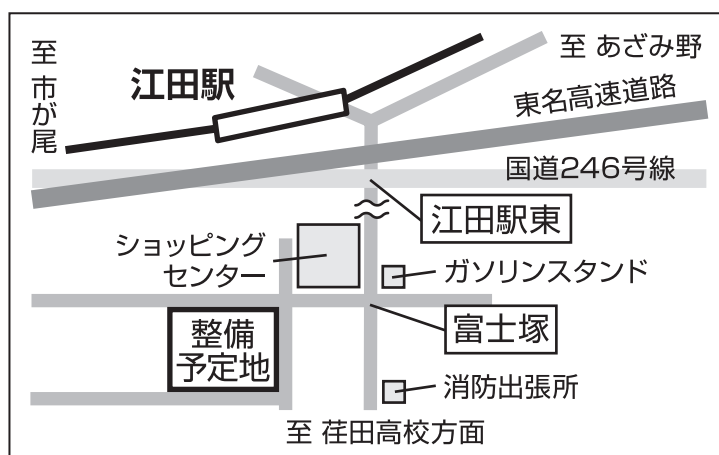
☆「横浜青葉スポーツ広場」代替施設「あおば協働の広場(仮称)」が、11月にオープン!

横浜環状北西線の工事進捗に伴い、横浜青葉インターチェンジ高架下の暫定施設「横浜青葉スポーツ広場」が平成26年9月末に廃止されます。そこで、区民の皆さんのスポーツ活動の場を確保するために、区民・企業等の地域の皆さんとともに、青葉区制20周年記念事業として、「あおば協働の広場(仮称)」を区内学校予定地に暫定整備します。

予約方法や利用ルール等の詳細は、決まり次第、青葉区ホームページ等でお知らせします。

【整備予定地】 荇田西二丁目16-1

【整備内容】 多目的運動場
(面積:約1万平方メートル)



☆バリアフリー化に向けた取組

横浜市では、公共施設、文化施設、福祉施設など不特定多数の人が利用する施設が集積し、バリアフリー化の必要性が高い地区を対象として、バリアフリー化のために実施すべき事業の内容などを定めるバリアフリー基本構想の策定を進めています。青葉区でも今年度から、市が尾駅を中心とした地区で、まちあるき点検や市民情報募集などを行いながら、検討を進めていきます。

☆みんなで歌おう!! 青葉こどもの歌

青葉区では、保育所間の連携と保育の質の向上を目的として、区内の認可保育園が連携して研修会が開かれています。その研修で作成した「青葉こどもカルタ」から、昨年、「青葉こどもの歌」がつけられました。

この曲は、保育園の職員が作詞し、青葉区長が作曲したもので、青葉区内の園児たちに歌われています。園児の歌う様子や譜面なども青葉区のHPからご覧いただけます。

(<http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/50kusei/20131129.html>)

青葉区の魅力がたくさん詰め込まれた歌詞を一番だけご紹介します。

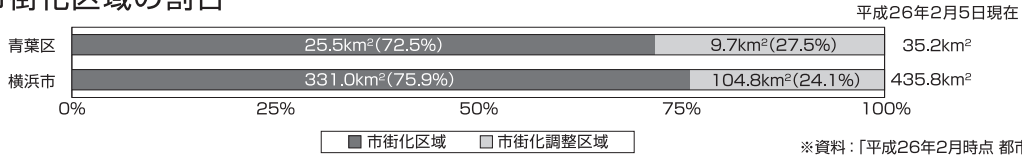
「太陽キラキラ 青空こんにちは みどりがあふれる 鳥も歌うよ れんげの小道
桜の並木 ランランラ・ラン ランランラ・ラン あ〜あ いいな
青葉の丘 こころやすらぐ こかげ道 みんなの笑顔が あふれている
げんきいっぱい 青葉っ子」

6 暮らし・生活・環境

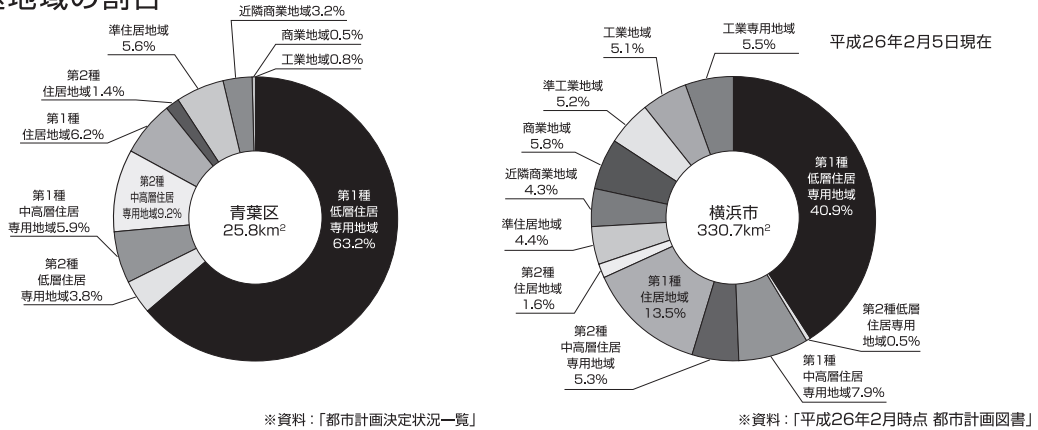
(1) 土地利用

～ 青葉区は住居系の用途地域の割合が高い～

ア 市街化区域の割合



イ 用途地域の割合



第1種低層住居専用地域	: 建ぺい率 30～60%、容積率 60～100%	準住居地域	: 建ぺい率 60%、容積率 200%
第2種低層住居専用地域	: // 40～60%、 // 60～150%	近隣商業地域	: // 80%、 // 200～400%
第1種中高層住居専用地域	: // 60%、容積率 150%	商業地域	: // 80%、 // 400～800%
第2種中高層住居専用地域	: // 60%、 // 150%	準工業地域	: // 60%、 // 200・400%
第1種住居地域	: // 60%、 // 200%	工業地域	: // 60%、 // 200%
第2種住居地域	: // 60%、 // 200%	工業専用地域	: // 40%～60%、容積率 200%

(2) 公園等

～ 青葉区は公園の面積割合で街区公園の割合が半数近くを占める～

ア 公開公園数・面積

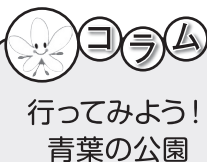
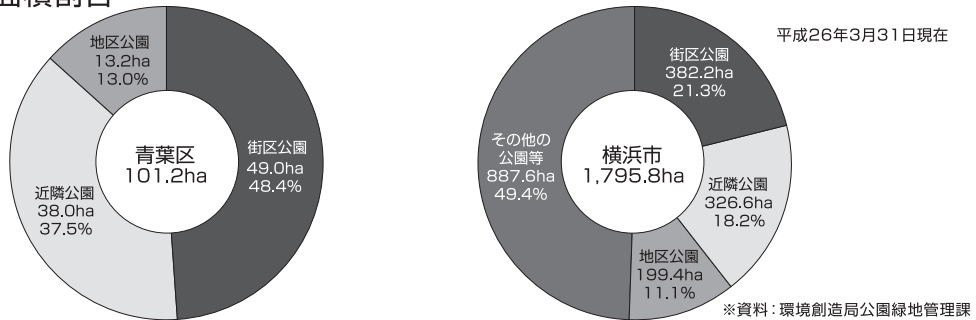
平成26年3月31日現在

	地区公園		近隣公園		街区公園		その他公園等		合計		1公園あたりの面積 (ha)
	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	(カ所)	(ha)	
青葉区	4	13.2	26	38.0	197	49.0	3	1.0	230	101.2	0.44
横浜市	44	199.4	196	326.6	2,279	382.2	123	887.6	2,642	1,795.8	0.68

※資料:環境創造局公園緑地管理課

- 注1) 県立公園を含みます。
 注2) 地区公園: 主に徒歩圏内の方の利用を目的とした公園で、誘致距離は1kmの範囲です。
 面積は4haを基準としています。
 近隣公園: 主に近隣に居住する方の利用を目的とした公園で、誘致距離は500mの範囲です。
 面積は2haを基準としています。
 街区公園: 主に街区内に居住する方の利用を目的とした公園で、誘致距離は250mの範囲です。
 面積は0.25haを基準としています。
 その他の公園等: 緑地・緑道、運動公園などをいいます。

イ 公園の面積割合



青葉区には230もの公園があります。公園数は、横浜市内で一番多く、魅力的な公園ばかりです。青葉区役所HP(トップページ)>くらしの情報>道路・下水道・公園>公園を探す)では、どんな公園があるか「名前」「所在地」「特徴」で検索できます。お気に入りの公園を探してみたいかがでしょう。

6 暮らし・生活・環境



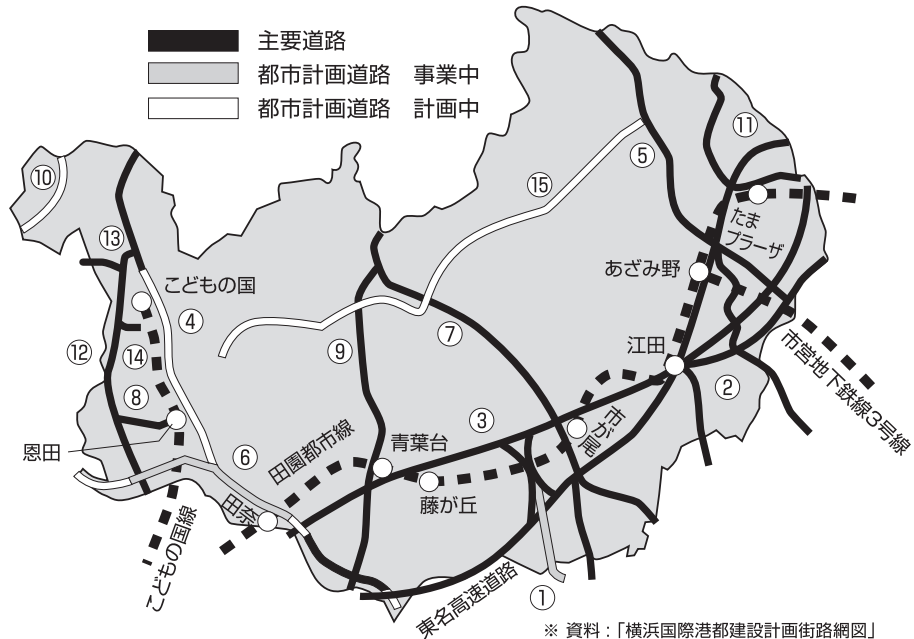
(3) 道路・交通

～ 青葉区は市内18区中で道路延長が一番長い～

平成24年4月現在

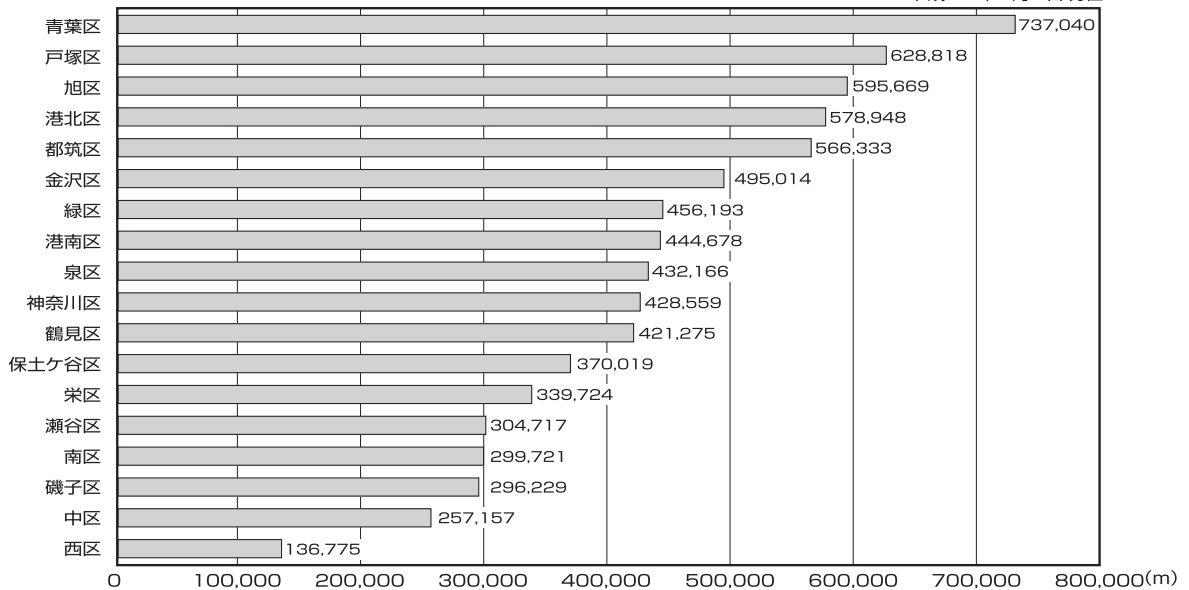
ア 道路

- ① 高速横浜環状北西線
- ② 新横浜元石川線
- ③ 国道246号
- ④ 真光寺長津田線
- ⑤ 日吉元石川線
- ⑥ 川崎町田線
- ⑦ 横浜上麻生線
- ⑧ 恩田線
- ⑨ 環状4号線
- ⑩ 柿生町田線
- ⑪ 元石川線
- ⑫ 長津田奈良線
- ⑬ 奈良2号線
- ⑭ 奈良3号線
- ⑮ 恩田元石川線



イ 道路延長

平成25年4月1日現在



ウ 街路樹の状況

平成26年3月31日現在

	イチョウ	サクラ類	トウカエデ	ユリノキ	ハナミズキ	ケヤキ	プラタナス	ハナノキ	アキニレ	ヤマボウシ	その他
青葉区	3,218	1,711	1,628	1,489	1,728	1,394	199	846	663	574	2,079
横浜市	16,180	7,715	5,090	9,131	5,605	6,308	2,935	3,251	2,920	1,949	26,782

注)単位：本

※ 資料：道路局施設課

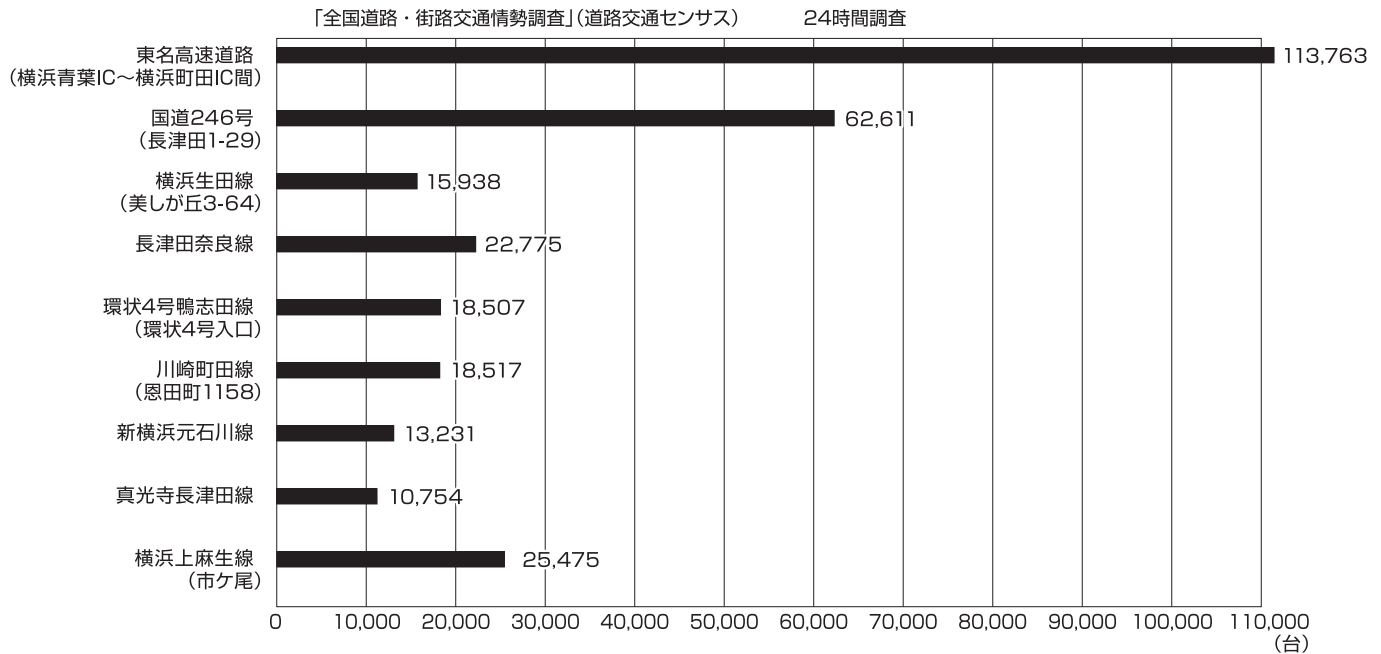


平成3年、魅力ある道路づくりの一環として、地区の特性を生かした快適な歩行者空間が作られました。市ヶ尾駅西口から、暖かく親しみのもてる11点の彫刻が点在しているので、芸術にふれながら、区役所までの道を歩いてみてはいかがでしょうか。

6 暮らし・生活・環境

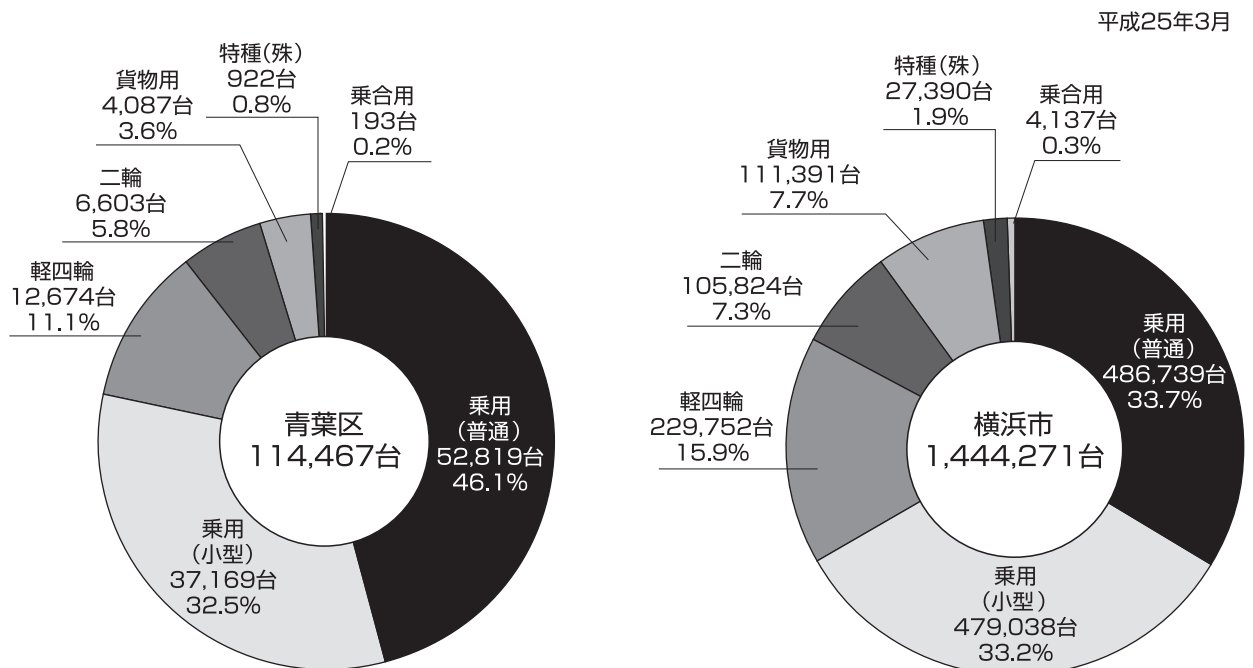
(4) 交通

～ 青葉区内の交通量は東名高速道路が突出して多い～



(5) 自動車登録台数

～ 青葉区は乗用の割合が約8割を占め、普通乗用が小型乗用より10ポイント以上多い～
(3ナンバー) (5ナンバー)



注) 特種(殊):救急車、タンクローリー、冷凍車、ロードローラー、フォークリフト等

※ 資料:国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局

(6) 交通事故

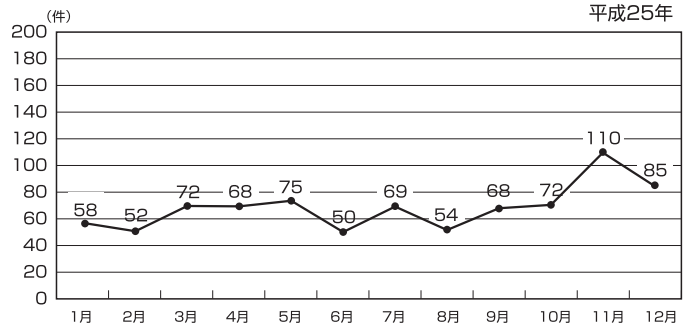
～ 平成25年青葉区の交通事故件数は減少した ～

●交通事故件数・負傷者数・死亡者数

	件数 (件)	負傷者数(人)			死亡者数 (人)	1日平均 件数(件)	
		重傷	軽傷	計			
青葉区	平成20年	1,233	23	1,418	1,441	3	3.4
	平成21年	1,167	23	1,318	1,341	5	3.2
	平成22年	1,194	47	1,358	1,405	1	3.3
	平成23年	955	32	1,107	1,139	4	2.6
	平成24年	880	45	946	991	11	2.4
平成25年	833	17	969	986	4	2.3	
横浜市	平成23年	14,344	584	16,282	16,866	57	39.3
	平成24年	13,158	529	14,899	15,428	66	36.0
	平成25年	12,248	447	13,930	14,377	61	33.5

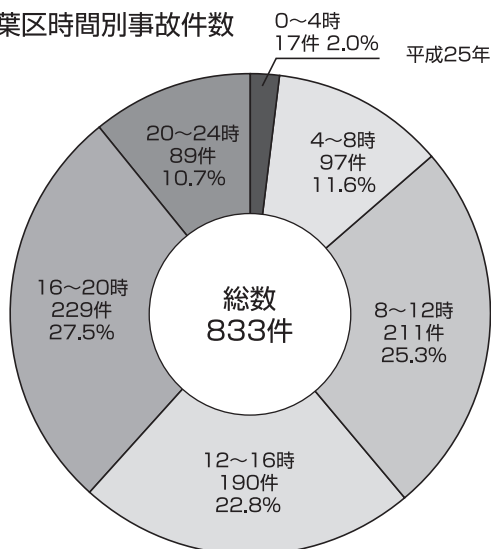
※ 資料：「平成25年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区月別事故件数



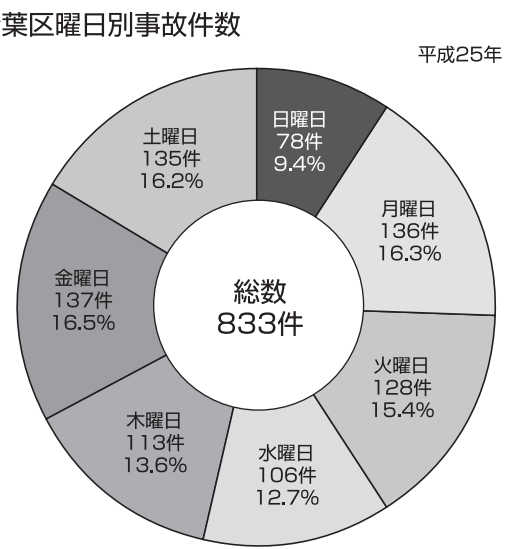
※ 資料：「平成25年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区時間別事故件数



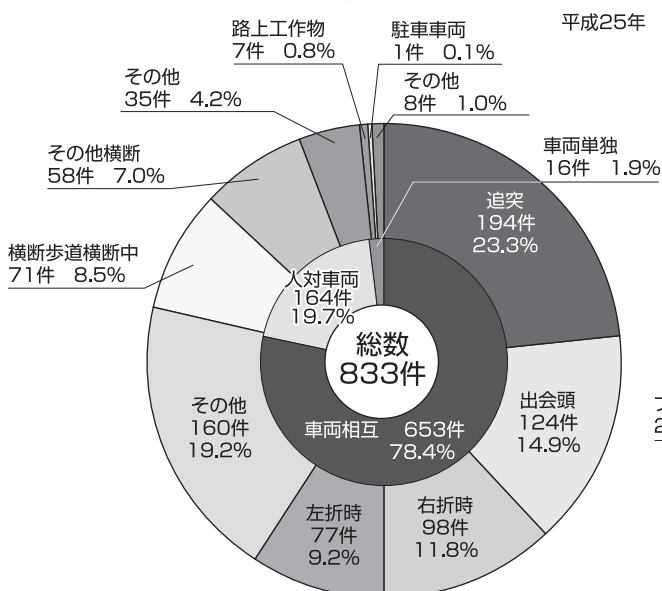
※ 資料：「平成25年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区曜日別事故件数



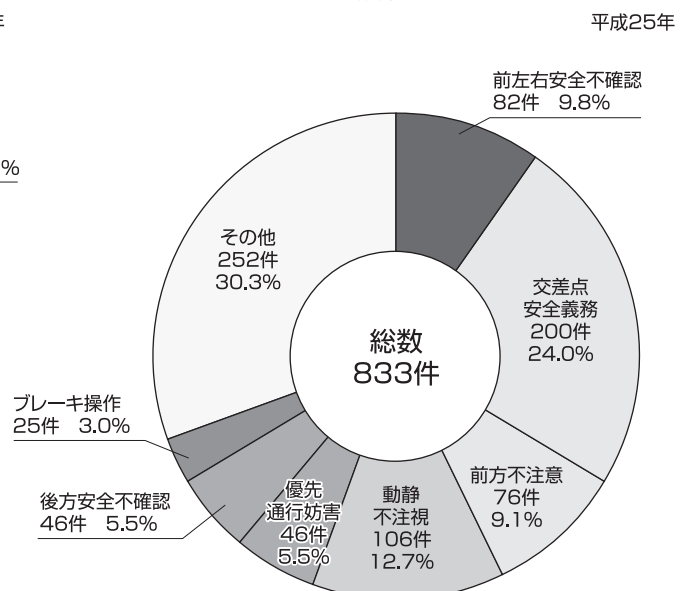
※ 資料：「平成25年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区類型別事故件数



※ 資料：「平成25年 青葉区の交通事故状況」

●青葉区原因別事故件数

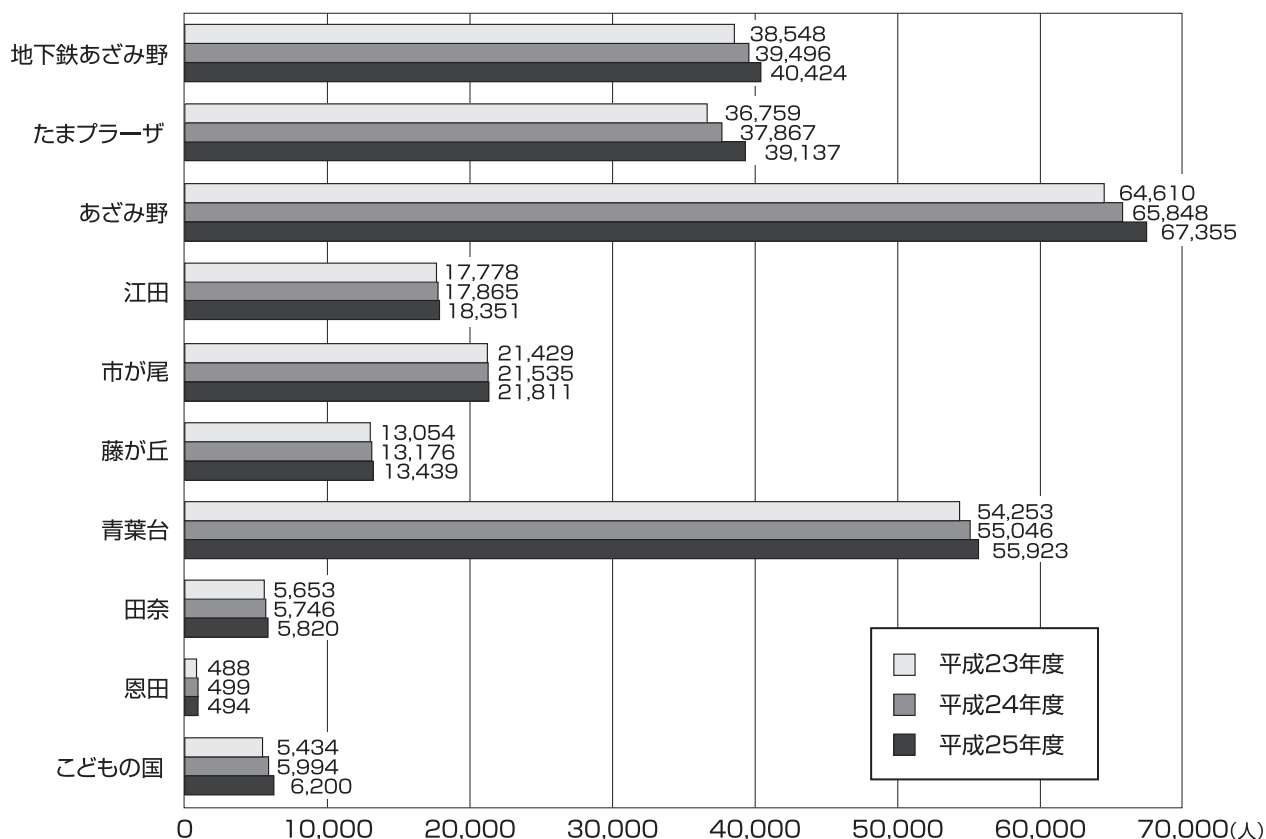


※ 資料：「平成25年 青葉区の交通事故状況」

6 暮らし・生活・環境

(7) 乗客数

●青葉区内各駅1日あたり乗客数の推移



※ 資料：横浜市交通局高速鉄道本部 営業課
東京急行電鉄株式会社 運輸営業部計画課

(8) ガス・水道

～ 青葉区の1世帯1日あたりのガス・水道消費量は、横浜市平均を上回る ～

●ガス

平成25年度

	需要戸数 (戸)	うち家庭用 (戸)	年間消費量 (1,000 m ³)	うち家庭用 (1,000 m ³)	世帯 1日あたりの使用量 (家庭用のみ) (m ³)
青葉区	118,969	115,624	66,325	48,130	1.14
横浜市	1,435,674	1,376,186	1,051,247	493,016	0.98

注1) 需要戸数には、業務用・医療用等を含みます。

注2) 需要戸数は、平成25年度末の数値です。

注3) 1世帯1日あたりの消費量については、区推計です。

※ 資料：東京ガス株式会社 横浜支店

●水道

平成24年度

	給水戸数 (戸)	うち家庭用 (戸)	年間使用水量 (1,000 m ³)	うち家庭用 (1,000 m ³)	1世帯 1日あたりの使用量 (家庭用のみ) (m ³)
青葉区	136,030	131,546	29,986	26,213	0.54
横浜市	1,776,546	1,701,986	388,841	307,433	0.49

注1) 給水戸数には、業務用・公衆浴場用等を含みます。

注2) 給水戸数は、平成24年度末の数値です。

注3) 1世帯1日あたりの使用量については、区推計です。

※ 資料：横浜市水道局 総務部 総務課

6 暮らし・生活・環境



区の木 ヤマザクラ

(9) ごみ

～青葉区の平成25年度の燃やすごみ量は、24年度に比べ477トンの削減。1人一日あたりの燃やすごみ量(原単位)は、平成24年度比6グラム(1.5%)の削減。～

※平成26年度「アクション青葉」キーワードは5つ!「食べ残し、手つかず食品の削減」「生ごみの水切り」・「分別の徹底」・「せん定枝や草の乾燥」・「容器包装等の資源物の削減」です。

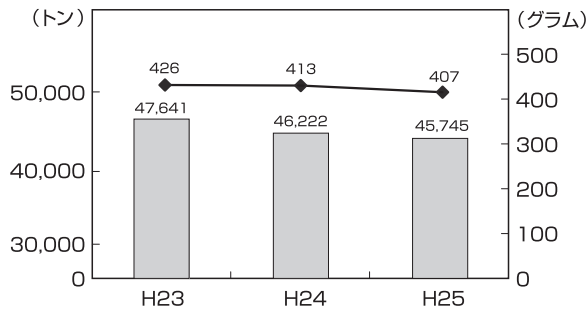
●燃やすごみ量(平成25年度)

	燃やすごみ (トン)	対前年度比		1人一日あたりの燃やすごみ量 (グラム)	対前年度比	
		対24年度比	対23年度比		対24年度比	対23年度比
青葉区	45,745	▲1.0%	▲4.0%	407	▲1.5%	▲4.5%
横浜市	564,089	▲1.9%	▲3.5%	417	▲2.1%	▲3.5%

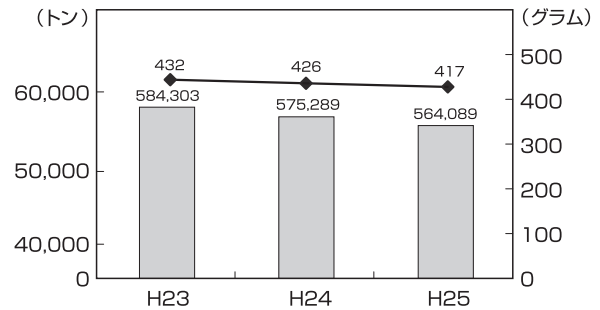
※ 資料：青葉区地域振興課

●燃やすごみ量の推移

【青葉区】



【横浜市】



■ 燃やすごみ ◆ 1人一日あたりの燃やすごみ量

※ 資料：青葉区地域振興課

●青葉区燃やすごみ量の年度別・月別推移

(単位：トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	3,999	4,373	3,847	4,157	3,960	4,051	4,182	3,875	4,387	3,879	3,135	3,795	47,641
H24年度	3,846	4,303	4,224	4,086	3,621	3,629	4,044	3,727	4,036	3,670	3,117	3,919	46,222
前年度差	△153	△70	377	△71	△339	△422	△138	△148	△351	△209	△18	124	△1,419
H25年度	4,059	4,107	3,886	3,941	3,828	3,705	3,710	4,014	4,003	3,718	2,976	3,798	45,745
前年度差	213	△196	△338	△145	207	76	△334	287	△33	48	△141	△121	△477

※ 資料：青葉区地域振興課

●青葉区資源となるものの年度別・月別推移

(単位：トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	819	880	860	850	916	854	813	816	860	868	762	821	10,119
H24年度	823	901	832	854	872	787	807	768	790	872	707	777	9,791
前年度差	4	21	△28	4	△44	△67	△6	△48	△70	4	△55	△44	△328
H25年度	775	826	752	823	814	749	769	723	736	837	655	735	9,194
前年度差	△48	△75	△80	△31	△58	△38	△38	△84	△54	△35	△42	△42	△597

※資源集団回収量は含まれません。

※ 資料：青葉区地域振興課

●青葉区地域清掃

(自治会・町内会などで実施した清掃活動)

	処理量(トン)	処理件数
H23年度	356.9	1,266
H24年度	428.7	1,477
H25年度	416.3	1,798

※ 資料：青葉区地域振興課

6 暮らし・生活・環境

(10) 消防・救急

～ 平成25年の青葉区の火災発生件数は、前年より増加～

ア 消防

●火災発生状況

(単位:件)

		総数	建物火災	林野	車両火災	船舶火災	雑草火災	その他
青葉区	平成24年	40	26	—	4	—	3	7
	平成25年	52	26	—	6	—	7	13
横浜市	平成24年	904	520	1	82	1	—	300
	平成25年	968	540	—	59	2	—	367

※ 資料：青葉消防署警防課

●月別火災発生件数

(単位:件)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
青葉区	平成24年	7	4	2	1	3	5	1	5	3	4	4	1	40
	平成25年	1	9	8	4	5	2	2	4	4	3	3	7	52
横浜市	平成24年	108	91	82	91	77	55	46	67	52	72	83	80	904
	平成25年	123	90	100	83	76	60	73	73	59	50	90	91	968

※ 資料：青葉消防署警防課

●火災の主な原因

(単位:件)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
青葉区	平成24年 (疑いを含む)	放火 6	こんろ 5	たばこ 4	火遊び 4	(車両) 交通機関内配線 2
	平成25年 (疑いを含む)	放火 8	接続器 5	たばこ 5	火遊び 5	(車両) 排気管 3
横浜市	平成24年 (疑いを含む)	放火 300	たばこ 135	こんろ 55	食用油 過熱出火 52	ストーブ 26
	平成25年 (疑いを含む)	放火 310	たばこ 136	こんろ 45	食用油 過熱出火 43	ストーブ 27

※ 資料：青葉消防署警防課

●青葉区町丁別放火火災(疑いを含む)発生状況(平成25年)

(単位:件)

荻田二丁目	田奈町	奈良三丁目	新石川二丁目	計
2	1	1	1	
	新石川四丁目	美しが丘一丁目	大場町	
	1	1	1	

※ 資料：青葉消防署警防課

イ 救急

●救急出動件数

(単位:件)

		急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
青葉区	平成24年	6,004	1,635	872	790	9,301
	平成25年	6,349	1,851	749	853	9,802
横浜市	平成24年	114,019	27,934	13,153	15,182	170,288
	平成25年	115,801	29,936	12,420	15,616	173,773

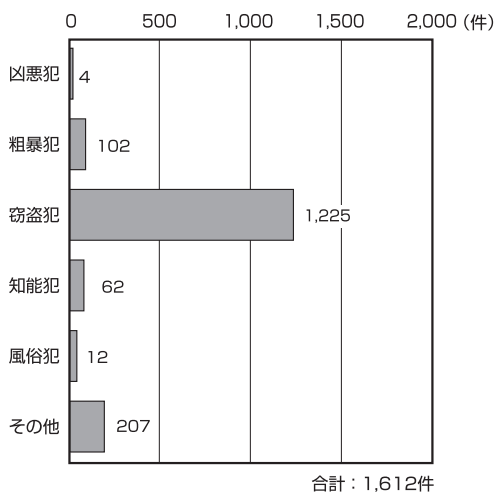
注) 救急出動件数は速報値です。

※ 資料：青葉消防署警防課

(11)犯罪

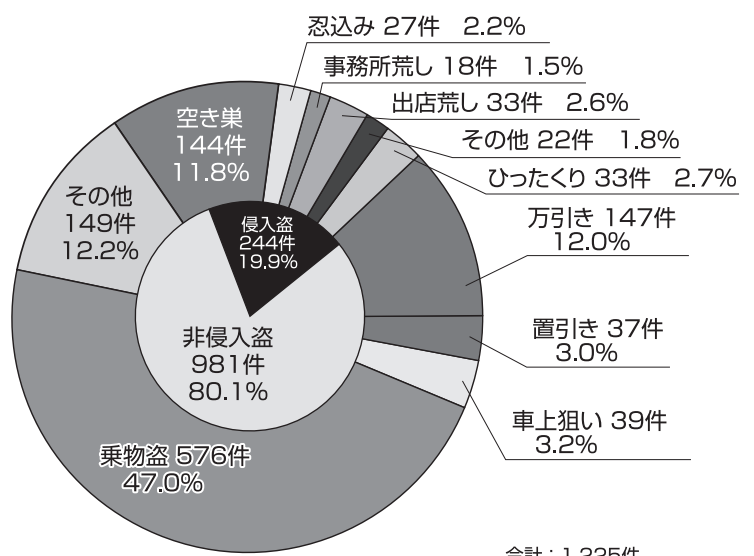
～ 犯罪件数は平成16年の半分以上に減少 ～

●青葉区で認知された犯罪件数



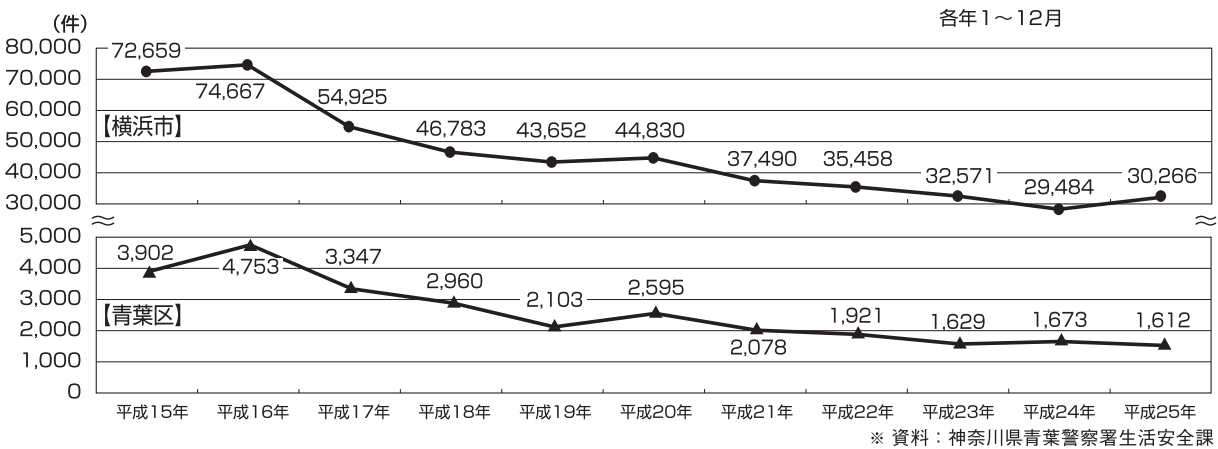
※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課
 凶悪犯：殺人、強盗、放火、強姦
 粗暴犯：暴行、傷害、脅迫、恐喝
 窃盗犯：侵入盗、非侵入盗
 知能犯：詐欺、偽造、横領、背任、汚職
 風俗犯：賭博、わいせつ
 その他：占有離脱物横領等

●青葉区で認知された窃盗犯の内訳



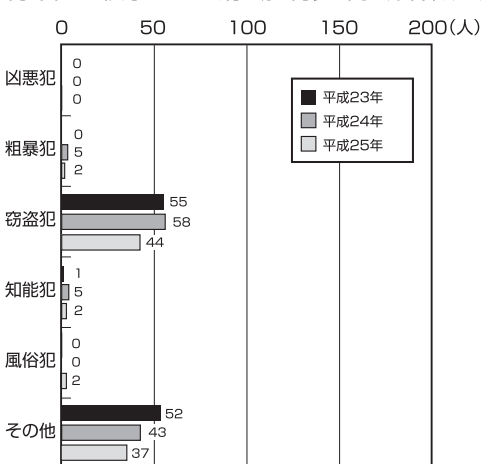
※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課

●横浜市と青葉区の犯罪認知件数の推移



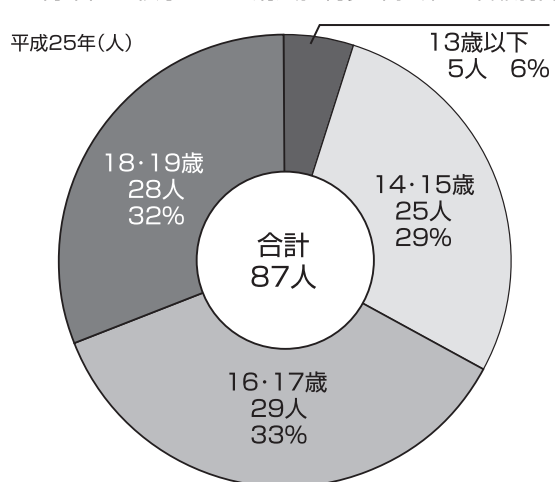
※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課

●青葉区で検挙された刑法犯青少年犯罪件数の推移



※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課

●青葉区で検挙された刑法犯青少年犯罪の年齢別内訳



※ 資料：神奈川県青葉警察署生活安全課

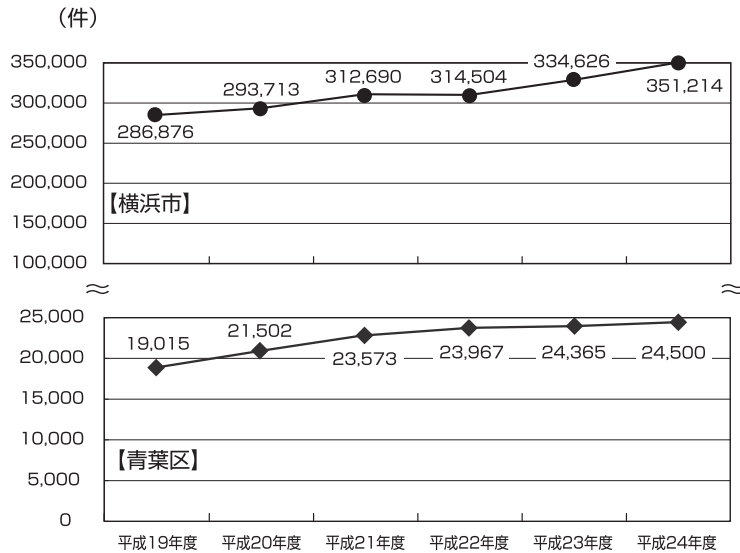
※このページに掲載されているデータは、青葉警察署で把握しているデータです。神奈川県警では、市区町村別に発生件数をとらえていますので、掲載しているデータとは異なる場合があります。

7 福祉

(1) 福祉保健相談

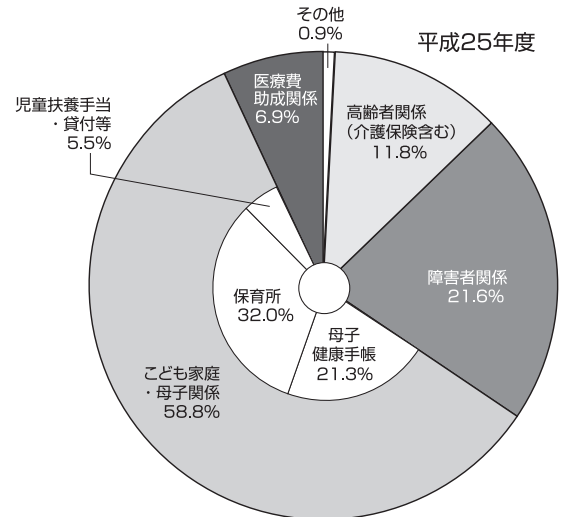
～福祉保健相談件数は、母子健康手帳交付や保育所入所などのこども・母子・女性相談等が半数近くを占める～

●相談件数



※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

●青葉区の相談内容別割合



※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

(2) 生活保護

～青葉区の被保護世帯数は、平成20年以降急増している～

●被保護世帯数・被保護人員

各年 4月現在

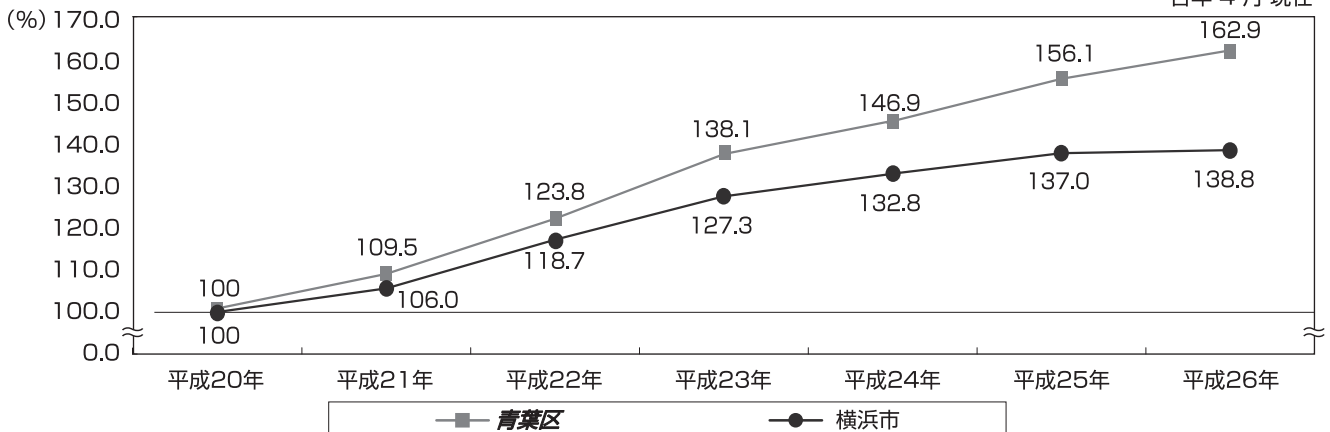
	青葉区				横浜市			
	被保護世帯数 (世帯)	保護率 (‰)	被保護人員 (人)	保護率 (‰)	被保護世帯数 (世帯)	保護率 (‰)	被保護人員 (人)	保護率 (‰)
平成20年	1,054	9.0	1,477	4.9	37,429	24.3	50,905	14.0
平成21年	1,155	9.7	1,612	5.4	39,691	25.3	53,831	14.7
平成22年	1,305	10.8	1,857	6.1	44,438	28.1	60,633	16.5
平成23年	1,456	12.1	2,043	6.7	47,679	30.0	65,533	17.8
平成24年	1,549	12.7	2,158	7.1	49,710	31.1	68,184	18.5
平成25年	1,646	13.4	2,324	7.6	51,308	31.9	69,906	18.9
平成26年	1,718	13.9	2,434	7.9	51,979	32.1	70,583	19.0

※ 資料：青葉区保護課 平成26年4月分

注) 保護率(‰パーミル)とは、世帯数1000世帯・人口1000人に対する被保護世帯数・被保護人員の割合のことです。保護率については、各年4月現在の世帯数・人口をもとに計算しています。

●平成20年度を100とした被保護世帯数の推移

各年 4月現在



※ 資料：青葉区保護課

7 福祉



(3) 高齢者福祉

～ 介護保険認定者数は年々増加 ～

●青葉ふれあい見守り事業（高齢者等定期訪問）対象者数（単位：人）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ひとり暮らし高齢者	1,180	1,155	1,081	1,116	1,259
高齢者世帯	185	168	168	161	167
その他の高齢者	114	98	82	100	127

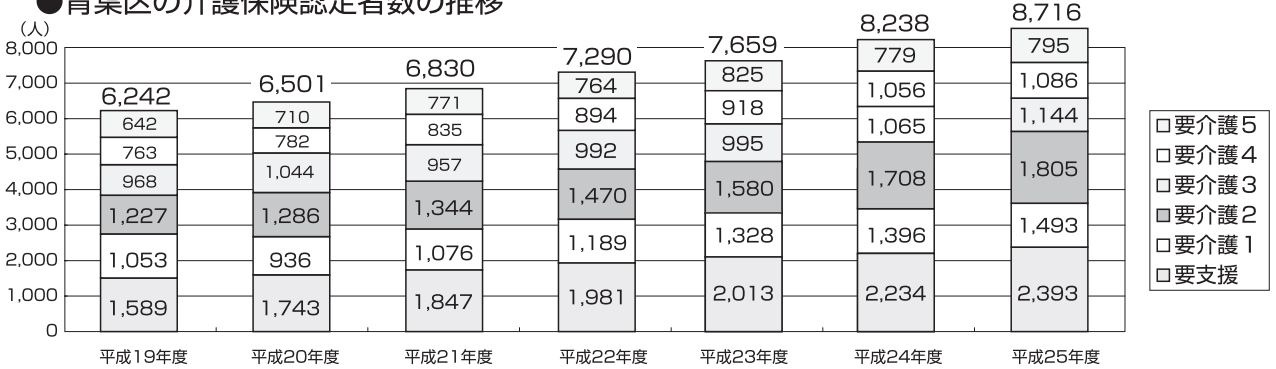
注) 民生委員等から高齢者等の訪問事業を通じて連絡を受け、福祉保健課で把握している人数です。
※ 資料：青葉区福祉保健課

●青葉区内の介護施設数

	施設数
デイサービス(通所介護)	58
ケアプラザ	11
介護老人保健施設	6
特別養護老人ホーム	11

(平成26年4月1日現在)

●青葉区の介護保険認定者数の推移

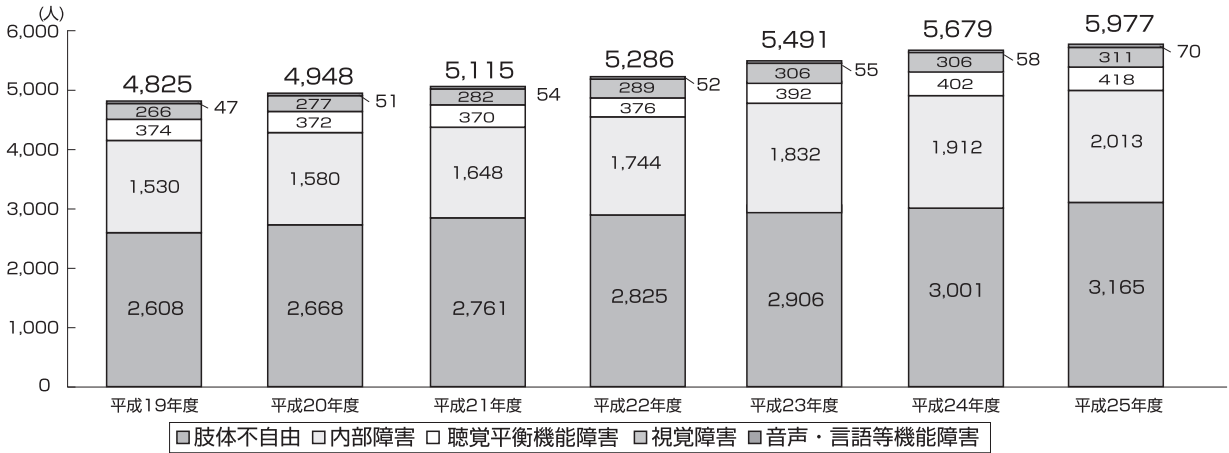


※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

(4) 障害者福祉

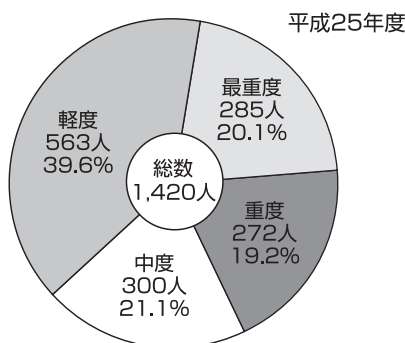
～ 身体障害者手帳所持者数は年々増加 ～

●青葉区の身体障害者手帳所持者数



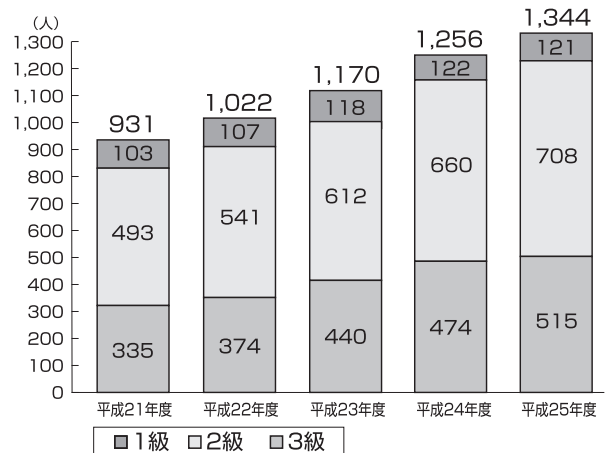
※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

●青葉区の知的障害者療育手帳(愛の手帳)所持者数



※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

●青葉区の子どもの精神障害者保健福祉手帳所持者数

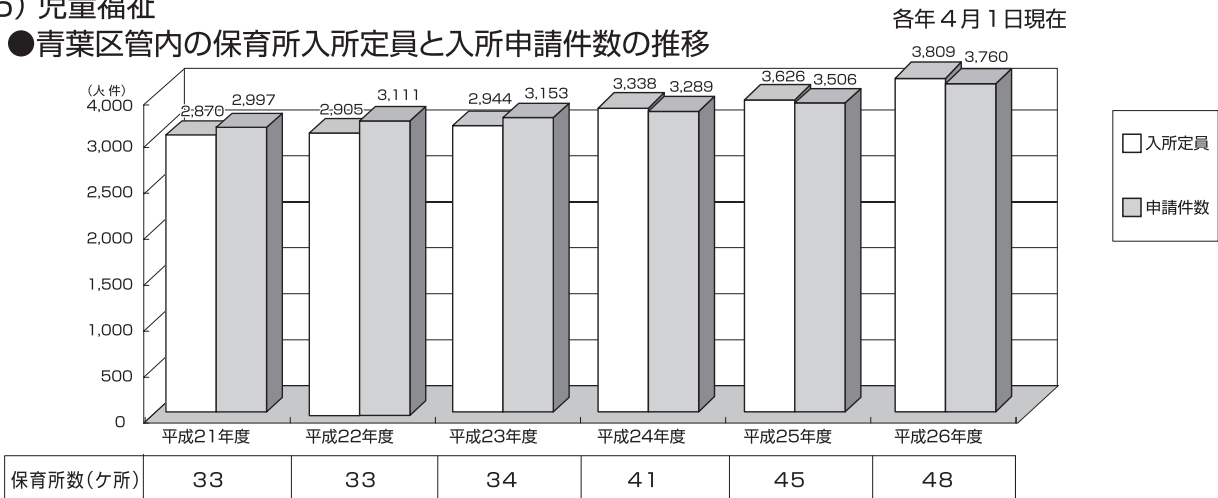


※ 資料：青葉区高齢・障害支援課

7 福祉

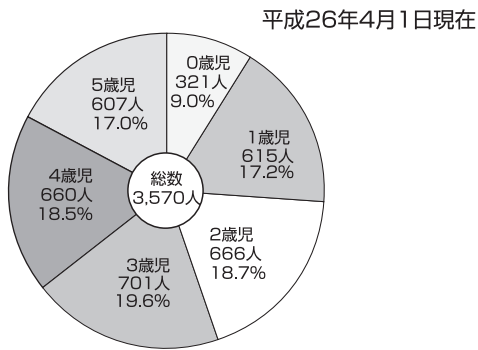
(5) 児童福祉

●青葉区管内の保育所入所定員と入所申請件数の推移



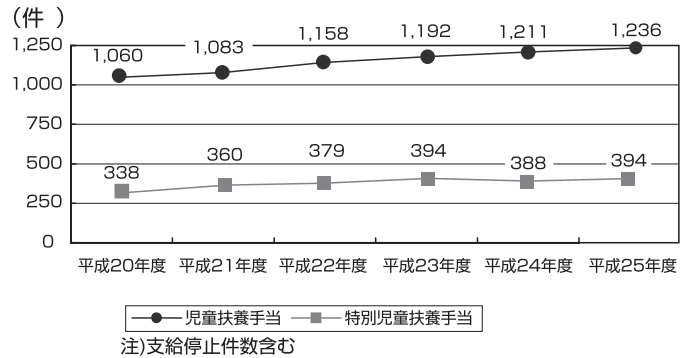
※ 資料：青葉区こども家庭支援課

●青葉区管内保育所の年齢別入所状況



※ 資料：青葉区こども家庭支援課

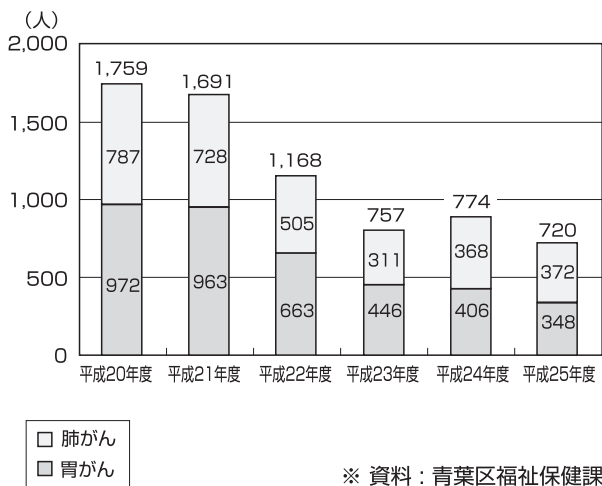
●青葉区児童扶養手当支給件数の推移



※ 資料：青葉区こども家庭支援課

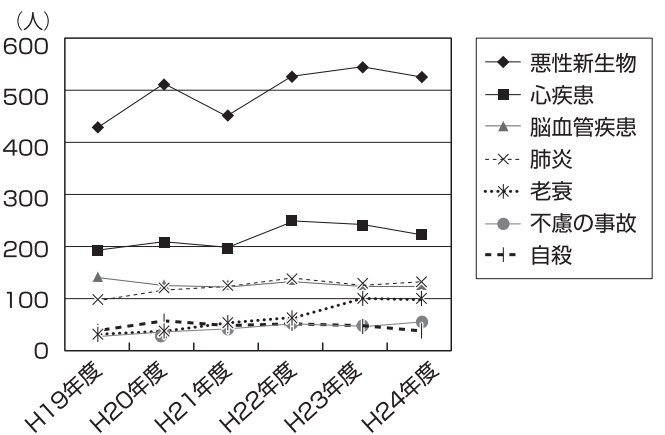
(6) 保健

●福祉保健センターで実施したがん検診の受診者



※ 資料：青葉区福祉保健課

●青葉区の死因



※ 資料：青葉区福祉保健課

～青葉区の犬の登録数は年々増加～

●犬の登録数の推移

	青葉区	横浜市
平成20年度	14,666	156,228
平成21年度	15,095	164,893
平成22年度	15,572	171,789
平成23年度	15,981	177,176
平成24年度	16,416	177,010
平成25年度	16,609	182,738

※ 資料：青葉区生活衛生課

●青葉区の衛生害虫等相談件数

	総件数	うちハチの件数
平成20年度	807	638
平成21年度	926	778
平成22年度	710	637
平成23年度	353	265
平成24年度	794	536
平成25年度	507	351

※ 資料：青葉区生活衛生課

●青葉区の実業衛生関係業務における監視指導等件数

	対象施設数 (件)	調査・ 監視指導件数 (件・のべ)	許可件数(件)		廃業件数 (件)	報告届出済証 発行件数 (件)
			新規	更新		
平成20年度	3,430	1,475	251	143	277	120
平成21年度	3,951	1,344	315	230	769	267
平成22年度	4,167	2,081	308	330	247	215
平成23年度	4,300	1,460	304	302	230	199
平成24年度	4,423	1,037	289	276	264	201
平成25年度	4,472	1,880	357	287	396	208

※ 資料：青葉区生活衛生課

●青葉区の実業衛生営業関係業務における指導・届出等件数の推移

	施設数 (件)	監視指導 (件)	申請・届出(件)				許可・変更調査 (件)	その他調査 (件)	相談等 (件)
			申請等	変更	廃止	その他			
平成20年度	899	502	32	151	25	44	32	17	203
平成21年度	906	119	36	112	20	6	43	52	228
平成22年度	922	193	43	96	28	4	43	7	27
平成23年度	917	115	64	158	41	61	30	14	19
平成24年度	937	232	31	134	91	53	35	28	260
平成25年度	1,089	265	58	200	34	81	48	17	78

※ 資料：青葉区生活衛生課



犬の登録と
狂犬病予防注射

犬の飼い主は、生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射を行うことが法律で義務づけられています。また、登録、注射をした犬には鑑札と注射済票を付けることも義務づけられています。予防注射は動物病院で受けることができます。

【横浜市動物愛護センターHP】

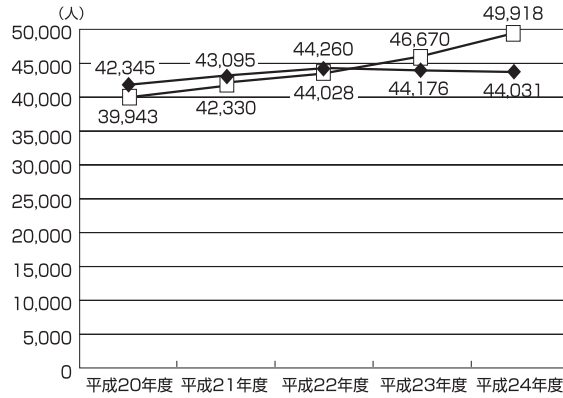
9 国民年金・国民健康保険

(1) 国民年金

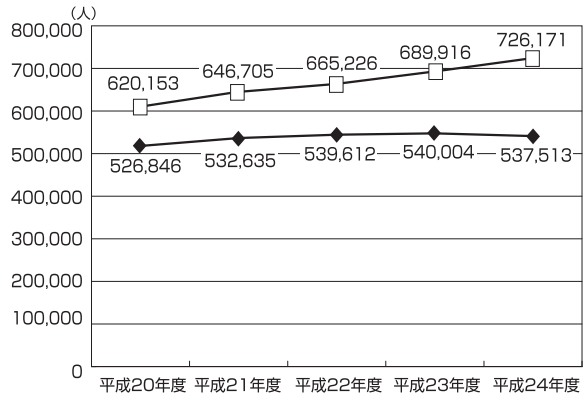
～ 年金受給者数は年々増加 ～

●被保険者数と受給者数の推移

【青葉区】



【横浜市】



注)被保険者数は、第1号被保険者及び任意被保険者

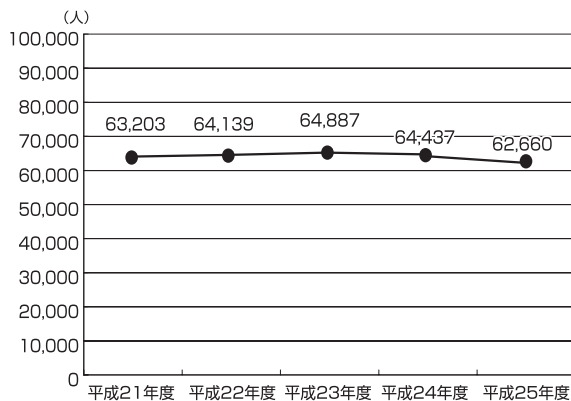
◆ 被保険者数 □ 受給者数

※資料:青葉区保険年金課

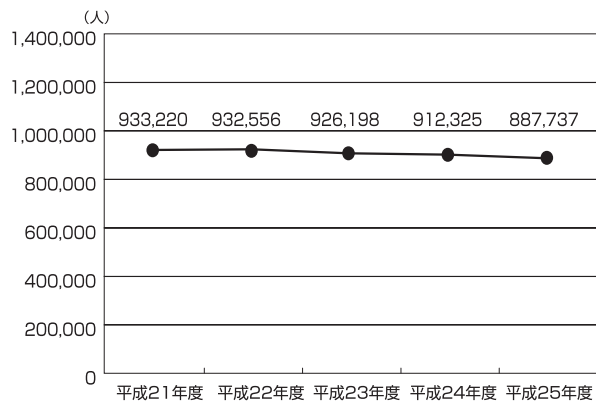
(2) 国民健康保険

●被保険者数の推移

【青葉区】



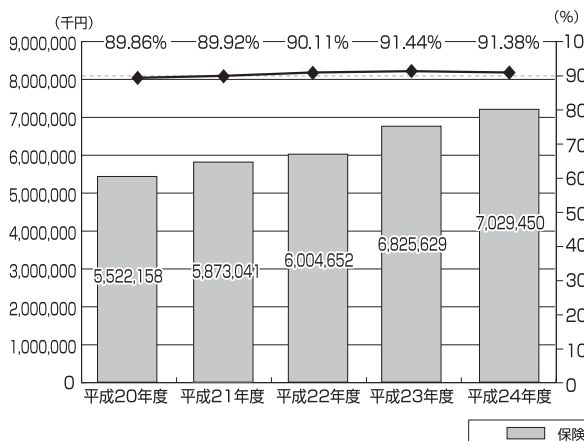
【横浜市】



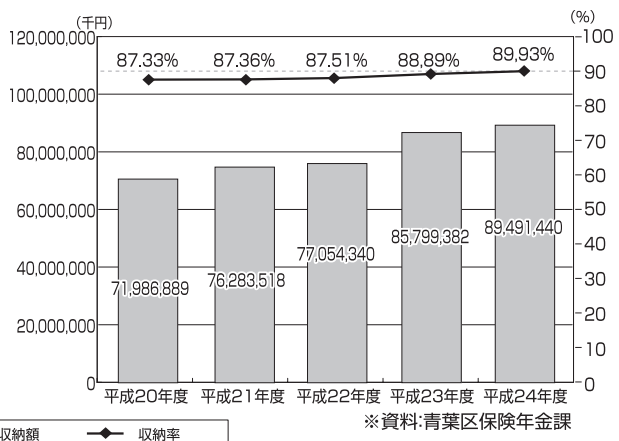
※資料:青葉区保険年金課

●保険料収納状況の推移 ※後期高齢者医療制度の開始に伴い、平成20年度から国民健康保険料の賦課額が減少しました。

【青葉区】



【横浜市】



※資料:青葉区保険年金課

注)保険料収納額と収納率は、現年度分です。

(1) 学校

～ 青葉区の帰国児童生徒は 18区の中で突出して多い～

●学校数・在学者数

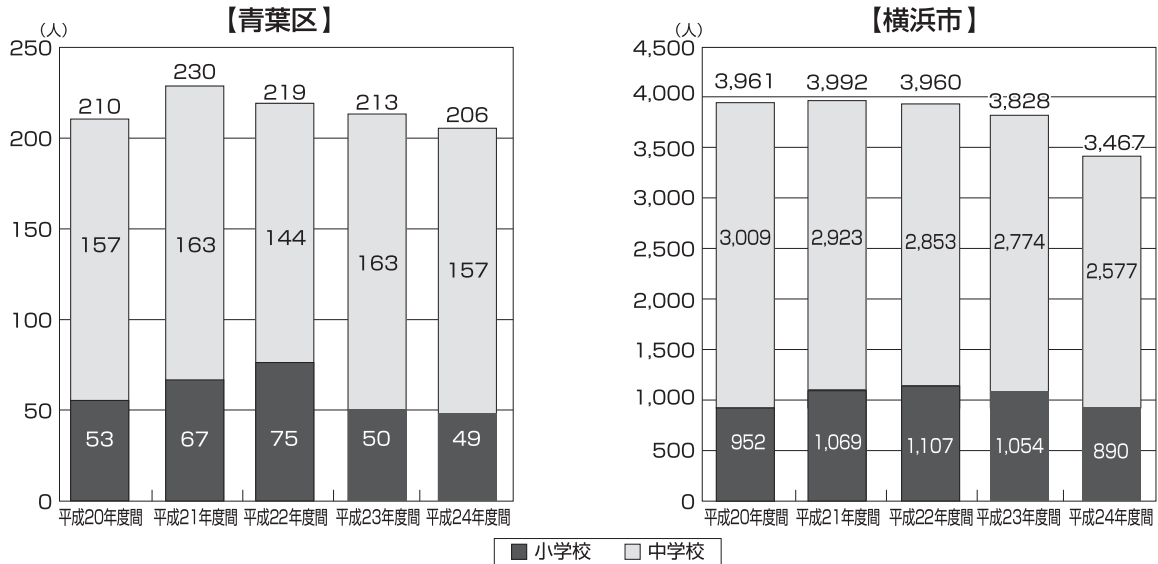
平成25年5月1日現在

	青葉区				横浜市			
	学校数 (校)	総数 (人)	男 (人)	女 (人)	学校数 (校)	総数 (人)	男 (人)	女 (人)
幼稚園	21	5,910	3,025	2,885	286	58,427	29,808	28,619
小学校	33	18,102	9,494	8,608	355	190,831	98,101	92,730
中学校	14	8,596	4,655	3,941	180	96,453	49,968	46,485
高等学校	4	5,692	3,091	2,601	91	80,141	39,689	40,452
中等教育学校	1	998	998	—	2	1,728	1,029	699
専修学校	1	36	30	6	25	17,420	7,702	9,718

※資料:「平成25年度 神奈川県学校基本調査結果報告」

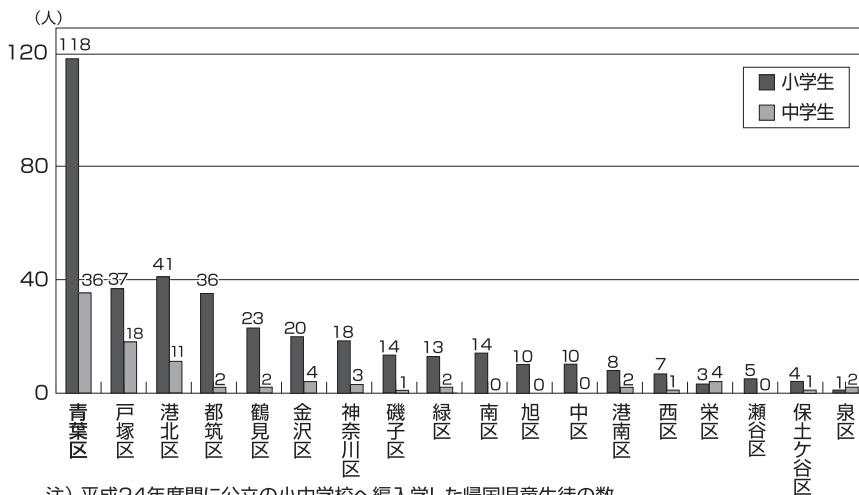
注)中等教育学校とは、中高一貫教育校として、前期課程(3年)及び後期課程(3年)からなる修業年限6年の学校です。

●年度別不登校者数の推移



注) 年度間に30日以上欠席した児童生徒のうち、不登校が理由の児童生徒の数 ※資料:「平成25年度 神奈川県学校基本調査結果報告」

●行政区別の帰国児童生徒数



注) 平成24年度間に公立の小中学校へ編入学した帰国児童生徒の数

※資料:「平成25年度 神奈川県学校基本調査結果報告」

コラム

青葉区にある放課後児童クラブは18施設、放課後キッズクラブは13施設、はまっこふれあいスクールは18施設で実施されており、小学生にとって放課後の居場所が安全で快適なものとなるようにサポートしています。

※クラブ数:H26.4.1現在

(2)文化

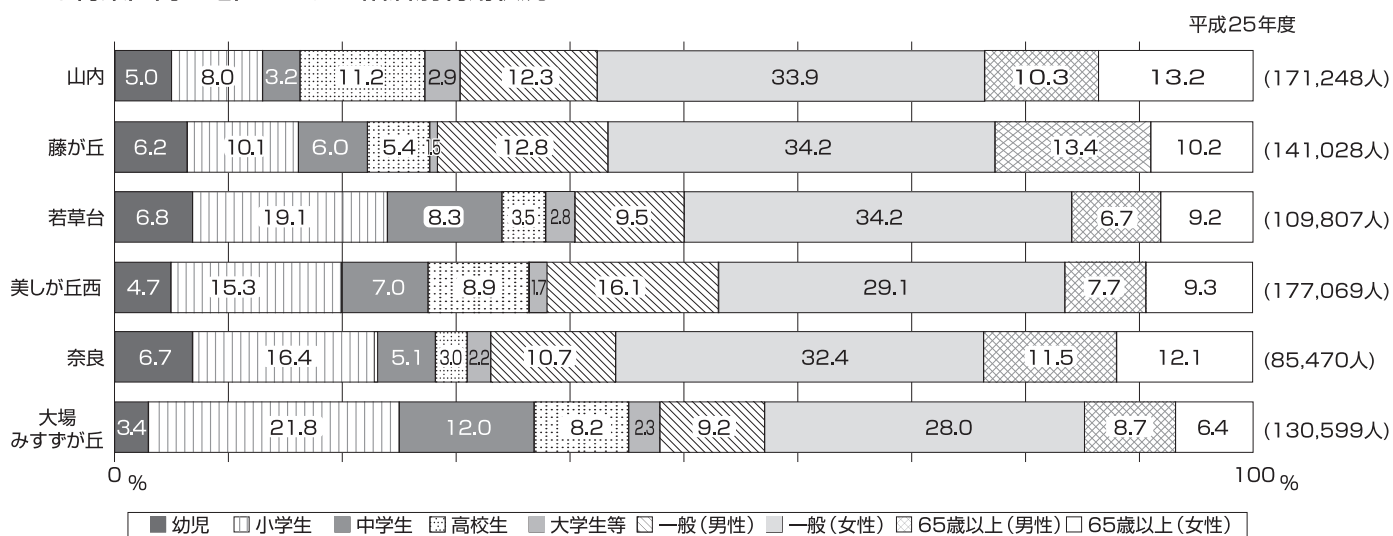
～ 地区センターの1日平均利用者数は約2,300人 ～

●青葉区内の区民利用施設利用状況

	平成 21年度		平成 22年度		平成 23年度		平成 24年度		平成 25年度	
	箇所数	利用者数(人)	箇所数	利用者数(人)	箇所数	利用者数(人)	箇所数	利用者数(人)	箇所数	利用者数(人)
公会堂	1	113,498	1	91,395	1	103,203	1	105,634	1	106,991
地区センター	6	709,458	6	756,410	6	758,323	6	790,862	6	815,221
コミュニティハウス	7	204,197	7	201,552	7	202,714	7	207,678	7	216,650
老人福祉センター	1	86,769	1	82,381	1	77,117	1	81,387	1	76,134
スポーツセンター	1	428,695	1	411,564	1	416,952	1	410,794	1	378,326
スポーツ会館	1	19,943	1	18,120	1	18,047	1	14,631	1	18,711
横浜青葉スポーツ広場	1	70,174	1	71,701	1	66,771	1	72,219	1	75,590
国際交流ラウンジ	1	18,714	1	17,127	1	16,293	1	17,242	1	17,340
こどもログハウス	1	126,679	1	116,421	1	98,005	1	119,588	1	114,154
区民文化センター									1	78,184

※資料:青葉区地域振興課

●青葉区内の地区センター階層別利用状況



※資料: 青葉区地域振興課

●平成25年度 区民活動支援センター利用実績

(件)

会議室の利用	交流コーナーの利用など	学習機材の貸出	学習情報の提供・相談
4,423	1,538	1,004	888

※資料: 青葉区地域振興課



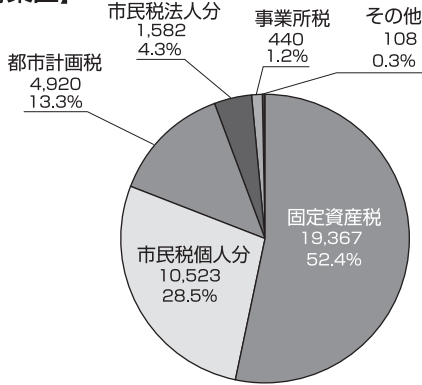
青葉区民芸術祭

青葉区民芸術祭は、地域の芸術文化振興を目的として開催しています。ステージ部門ではコーラスのつどい、音楽祭、芸能祭と毎年多くの団体が日頃の成果を発揮し、見ごたえのある素晴らしい舞台をつくりあげています。展示部門では、多彩なジャンルの作品が集まり、数多くの個性豊かな作品展を楽しむことができます。あなたも会場で文化の薫り高いまち、青葉区を実感してみませんか。

(1)市税収入

● 市税収入の税目別構成比(平成24年度)

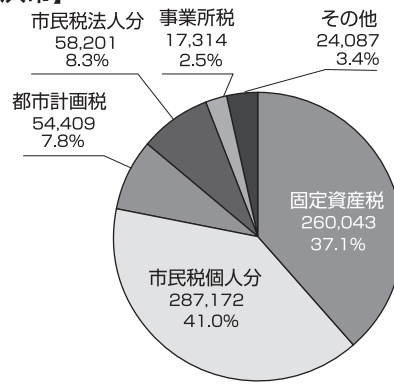
【青葉区】



総額：36,940百万円

【横浜市】

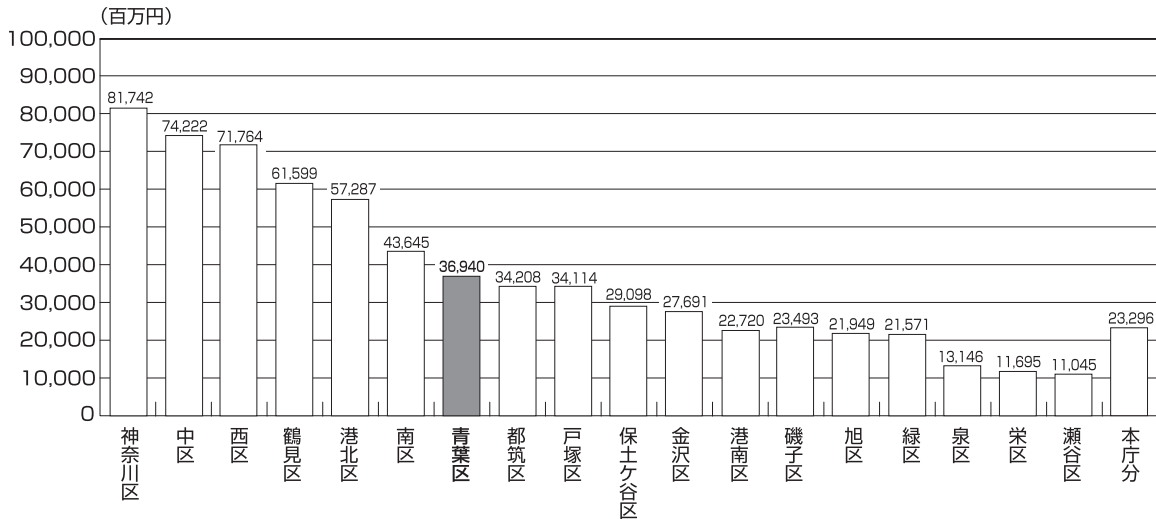
(単位：百万円)



総額：701,226百万円

※資料：「市税決算額調」

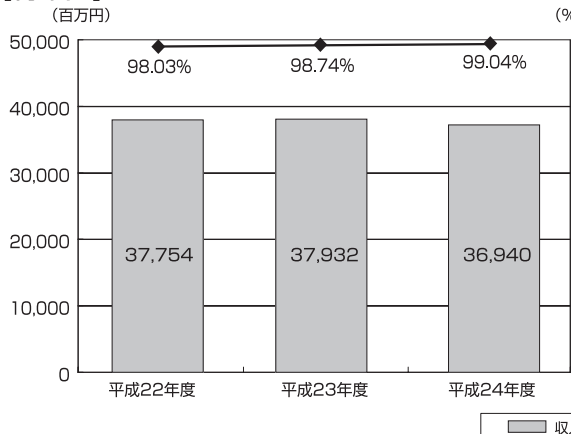
● 市税収入の区別収入額の割合(平成24年度)



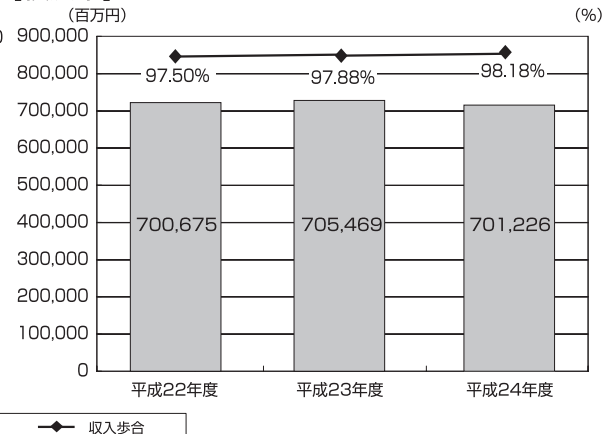
※資料：「市税決算額調」

● 市税収入額及び収入歩合の推移(3ヵ年)

【青葉区】



【横浜市】



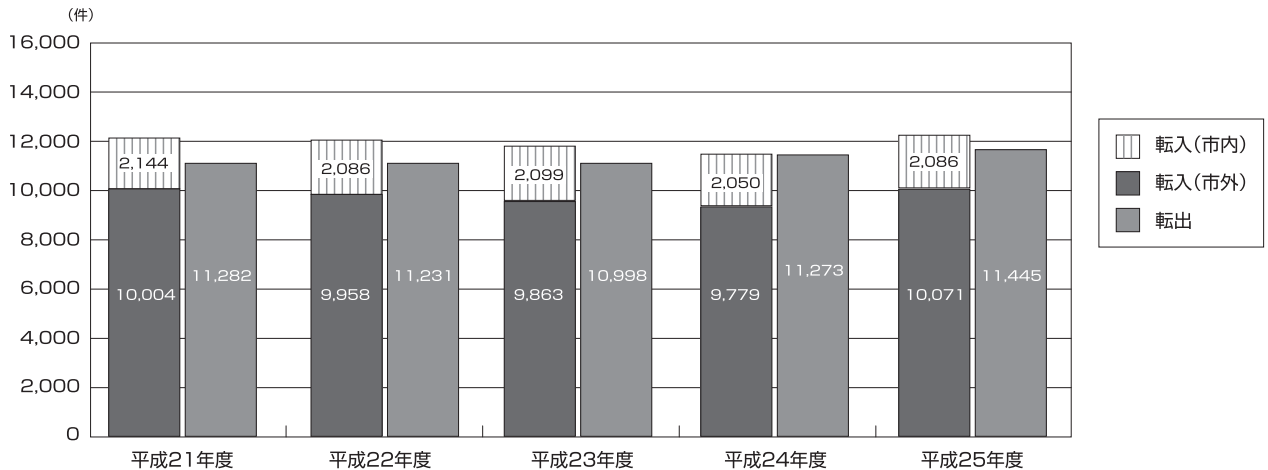
※資料：「市税決算額調」

12 戸籍・住民登録

(1) 住民異動届

～ 住民異動届は3月と4月が突出して多く、その他の月はほぼ横ばい～

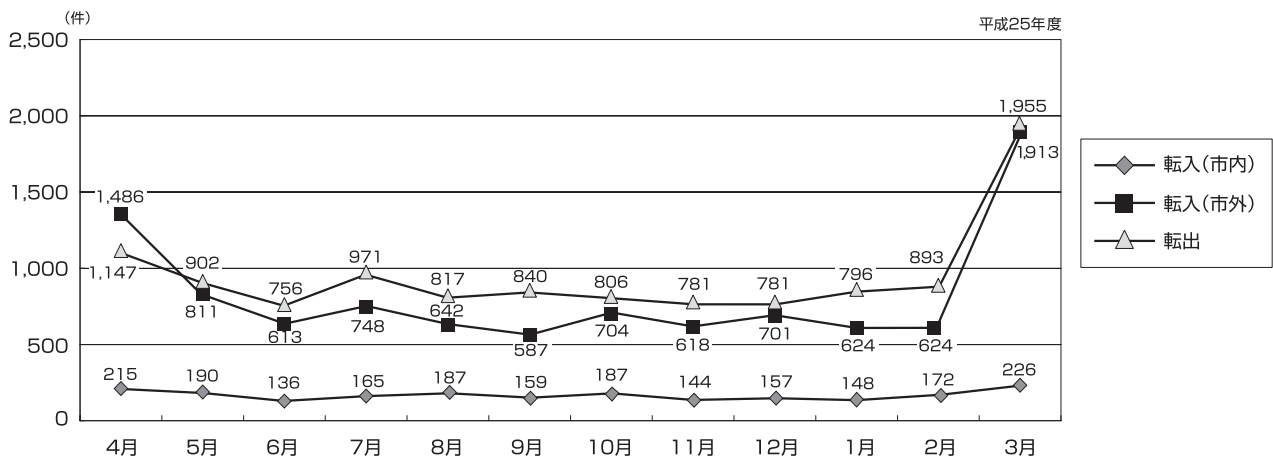
●青葉区の住民異動届出件数の推移



注)窓口受付件数のみ。転出は国外移住を含んでいません。

※資料:青葉区戸籍課

●青葉区の月別住民異動届出件数

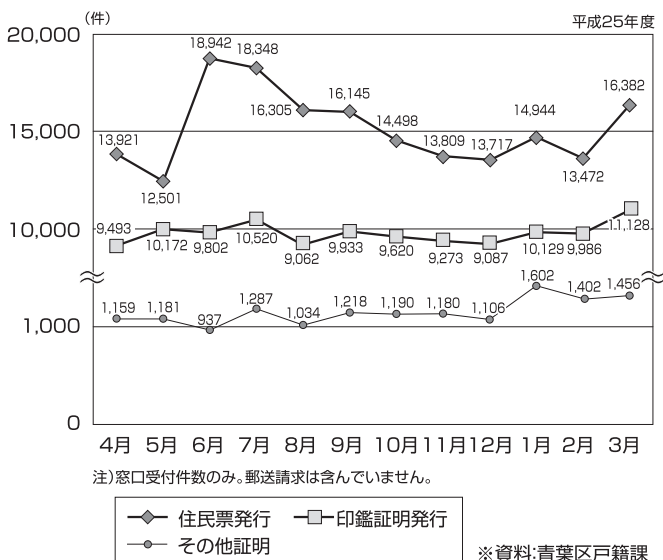


注)窓口受付件数のみ。転出は国外移住を含んでいません。

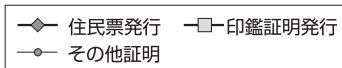
※資料:青葉区戸籍課

(2) 住民登録・その他

●青葉区の月別証明書発行件数

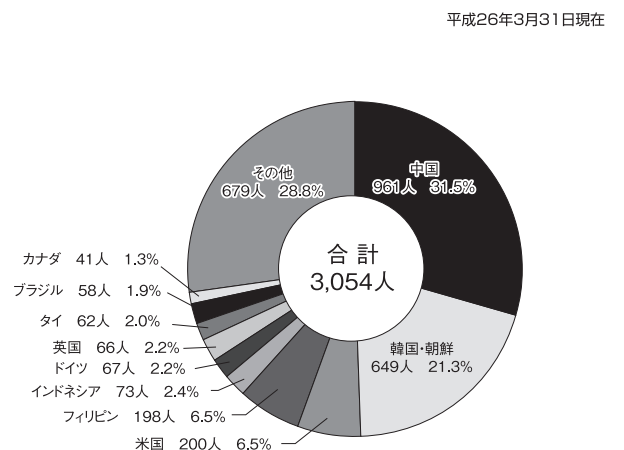


注)窓口受付件数のみ。郵送請求は含んでいません。



※資料:青葉区戸籍課

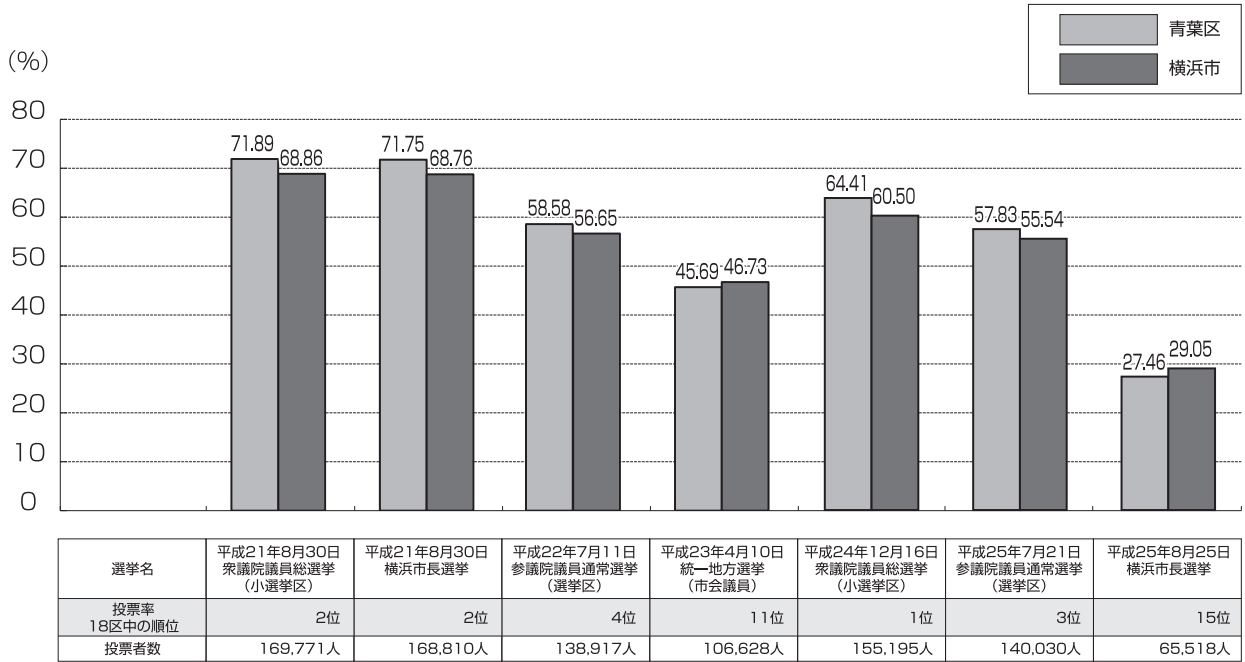
●青葉区の外国人登録人口



平成26年3月31日現在

※資料:青葉区戸籍課

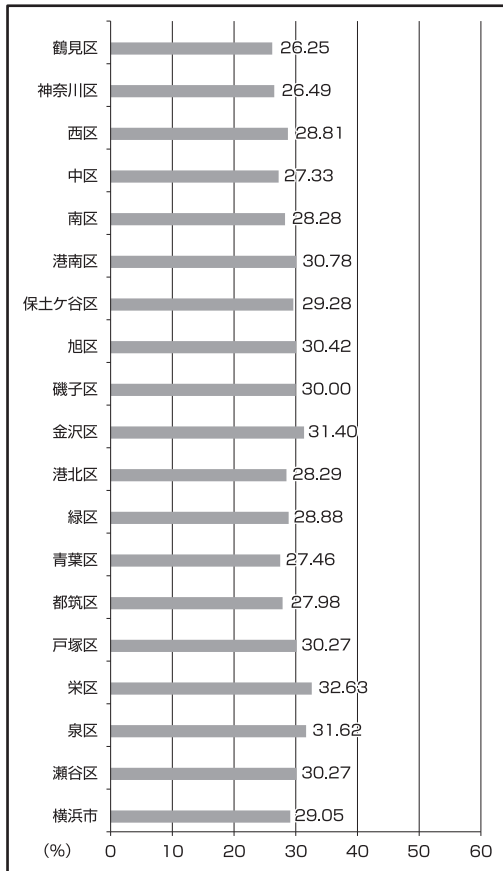
●各種選挙別投票率



※資料:青葉区選挙管理委員会

●平成25年8月25日執行 横浜市長選挙

区別投票率



青葉区投票所別投票率

投票区	投票所	投票率 (%)
1	JA田奈	25.23
2	奈良中学校	25.76
3	奈良小学校	28.72
4	青葉台小学校	28.15
5	青葉台中学校	28.20
6	櫻が丘小学校	26.55
7	さつきが丘小学校	22.53
8	つつしが丘小学校	25.63
9	藤が丘小学校	28.46
10	谷本中学校	27.26
11	谷本小学校	23.91
12	緑が丘中学校	26.30
13	もえぎ野小学校	28.91
14	みたけ台中学校	26.16
15	鉄小学校	27.38
16	大場町一心会会館	29.06
17	鴨志田緑小学校	31.81
18	鴨志田第一小学校	28.44
19	市ヶ尾小学校	27.71
20	青葉区役所	24.32
21	東市ヶ尾小学校	27.49
22	荇田小学校	24.36
23	山内小学校	26.65
24	あざみ野中学校	29.10
25	山内中学校	24.88
26	あざみ野第一小学校	28.77
27	たまプラーザ団地集会所	31.12
28	美しが丘東小学校	26.53
29	美しが丘中学校	27.72
30	元石川小学校	26.63
31	すすき野小学校	28.10
32	嶮山小学校	31.06
33	恩田小学校	25.95
34	美しが丘西地区センター	28.32
35	荇田西小学校	28.70
36	新石川小学校	24.86
37	あざみ野第二小学校	31.10
38	荇子田小学校	27.46
39	奈良の丘小学校	29.69
40	奈良地区センター	28.32
41	あかね台中学校	27.15
42	みたけ台小学校	27.75

※資料:青葉区選挙管理委員会

(1) 避難場所・避難方法

確認しておこう!! 災害時の行動

自宅に倒壊の危険があるなど、
生活するのに困難な状態になったら

地域防災拠点

小・中学校を震災時の避難場所として
指定しており、ここで実際に避難生活を
送ります。



災害時地域定診療拠点

被災負傷者(軽傷者)等へ
の応急医療を行います。
※地域防災拠点と併設しています。



震災により
けがをしたら

地域防災拠点の周辺で
火災がおきていたら

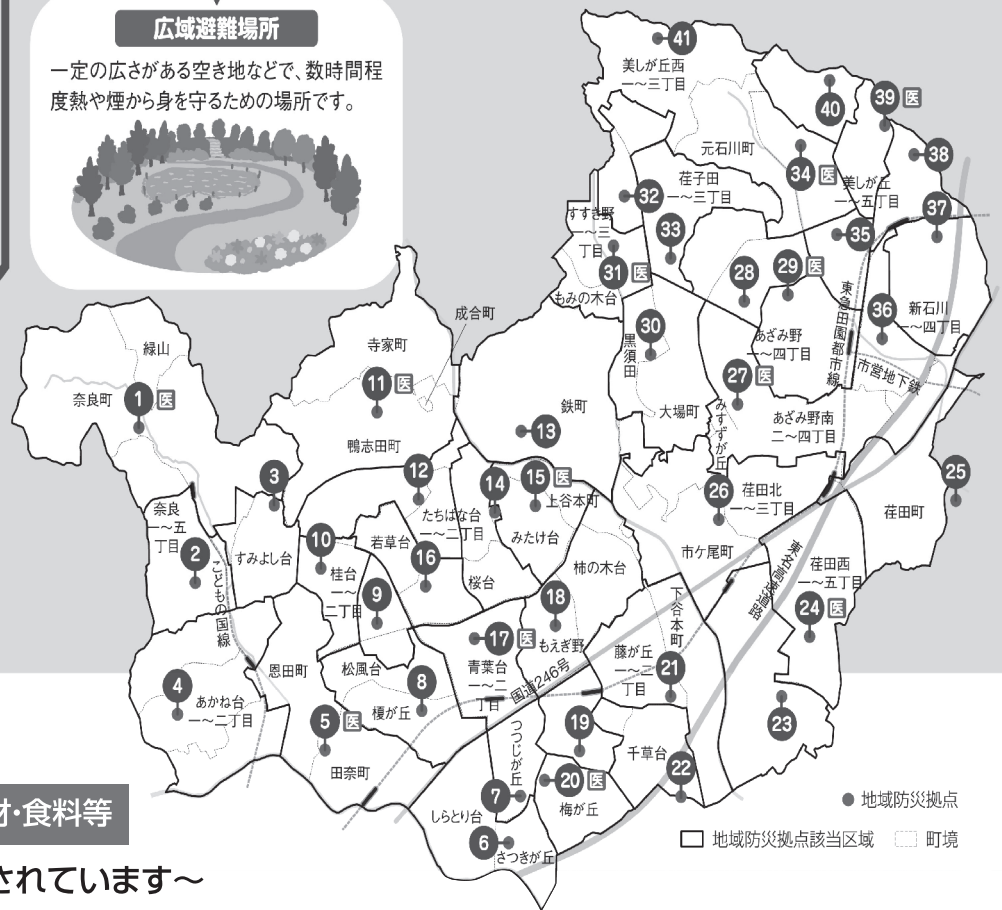
広域避難場所

一定の広さがある空き地などで、数時間程
度熱や煙から身を守るための場所です。



地震にあったら

- ▶ ガラスや落下物から身を守り、出口を確保しましょう。
- ▶ 避難の前に火元・電気の確認をしましょう。
- ▶ ご近所同士協力して避難しましょう。
- ▶ 自宅に倒壊の危険がなく、周辺で火災が発生するおそれがないときは避難の必要はありません。避難の必要があるかどうか迷う場合は近所の公園など、自治会・町内会や地域で決めた場所(「いつとき避難場所」)へ移動して、様子を見ましょう。



各地域防災拠点の資機材・食料等

～防災備蓄庫内に保管されています～

《救助用品》 ・発電機5・担架10・つるはし5・スコップ5・てこ棒5・ワイヤーカッター5・のこぎり5・ハンドマイク2・油圧ジャッキ1
・ヘルメット10・投光器5・ボール(応急担架用)10・大ハンマー5・ロープ5・大バール5・大なた5・金属梯子1
・エンジンカッター2・掛矢2・ガス式発電機1・ランタン80

《救護用品》 ・リヤカー2・グランドシート10・くみとり式仮設トイレ2・バック式トイレ5,000・給水用水槽1・松葉杖5
・保温用シート50・毛布(備蓄庫のスペースによっては、毛布が保管されていない拠点もあります。)

《食料》 ・水缶詰2,000・粉ミルク19・ほ乳ビン19・乾パンクラッカー1,000・缶入り保存パン1,000・おかゆ460・スープ220

《その他》 ・移動式炊飯器(小学校)1・ガスかまどセット(中学校)1・紙おむつ(大人210/子供用1,350)・生理用品425
・トイレトーパー192・テント2・モジュラーコード1・トランシーバー2・特設公衆電話2

※資料:青葉区総務課

地域防災拠点(震災時避難場所)一覧

家屋が倒壊・焼失し戻れない場合は、地域防災拠点(避難場所)に避難してください。お住まいの地域の地域防災拠点を確認しましょう!

☒:災害時地域定点診療拠点

番号	該当地域	学校名	学校所在地
1	奈良町の一部、奈良四丁目の一部、奈良五丁目、緑山	奈良小学校 ☒	奈良町 1541 - 2
2	奈良町の一部、奈良一丁目～三丁目、奈良四丁目の一部	奈良の丘小学校	奈良二丁目 29 - 1
3	すみよし台、奈良町の一部	奈良中学校	すみよし台 36 - 3
4	あかね台一丁目、二丁目、恩田町の一部	あかね台中学校	あかね台二丁目 8 - 2
5	恩田町の一部、田奈町	田奈小学校 ☒	田奈町 51 - 13
6	さつきが丘、しらとり台	さつきが丘小学校	さつきが丘 8
7	つつしが丘	つつしが丘小学校	つつしが丘 34
8	榎が丘、松風台の一部	榎が丘小学校	榎が丘 29
9	桂台一丁目、松風台の一部	桂小学校	桂台一丁目 4
10	桂台二丁目、若草台の一部	恩田小学校	桂台二丁目 36
11	鴨志田町の一部、寺家町、成合町	鴨志田緑小学校 ☒	鴨志田町 532
12	鴨志田町の一部、たちばな台二丁目	鴨志田第一小学校	鴨志田町 805 - 6
13	鉄町、大場町の一部	鉄小学校	鉄町 427
14	桜台の一部、たちばな台一丁目	みたけ台小学校	みたけ台 18
15	上谷本町の一部、みたけ台	みたけ台中学校 ☒	みたけ台 30
16	桜台の一部、若草台の一部	青葉台小学校	桜台 47
17	青葉台一丁目、二丁目	青葉台中学校 ☒	青葉台二丁目 25 - 2
18	柿の木台、上谷本町の一部、もえぎ野	もえぎ野小学校	もえぎ野 16
19	藤が丘二丁目一部	藤が丘小学校	藤が丘二丁目 30 - 3
20	梅が丘	谷本中学校 ☒	梅が丘 5
21	下谷本町、藤が丘一丁目	谷本小学校	藤が丘一丁目 55 - 10
22	千草台、藤が丘二丁目一部	緑が丘中学校	千草台 50 - 1
23	市ヶ尾町の一部	東市ヶ尾小学校	市ヶ尾町 519
24	荏田西一丁目～五丁目	荏田西小学校 ☒	荏田西四丁目 5 - 1
25	荏田町の一部	荏田小学校	都筑区荏田南町 694
26	市ヶ尾町の一部、大場町の一部、荏田北一丁目～三丁目	市ヶ尾小学校	市ヶ尾町 1632 - 1

番号	該当地域	学校名	学校所在地
27	あざみ野三丁目、大場町の一部、あざみ野南二丁目～四丁目、みずすが丘	あざみ野第二小学校 ☒	あざみ野三丁目 29 - 3
28	あざみ野四丁目、元石川町の一部	あざみ野第一小学校	あざみ野四丁目 6 - 1
29	あざみ野一丁目、二丁目	あざみ野中学校 ☒	あざみ野一丁目 29 - 1
30	黒須田、大場町の一部	黒須田小学校	黒須田 34 - 1
31	すすき野一丁目、二丁目、すすき野三丁目一部、もみの木台	嶮山小学校 ☒	すすき野一丁目 6 - 4
32	美しが丘西三丁目一部、すすき野三丁目一部	すすき野小学校	すすき野三丁目 4 - 1
33	荏子田一丁目～三丁目	荏子田小学校	荏子田三丁目 8 - 9
34	美しが丘四丁目、元石川町の一部	元石川小学校 ☒	美しが丘四丁目 31 - 1
35	美しが丘五丁目	山内中学校	美しが丘五丁目 4
36	あざみ野南一丁目、荏田町の一部、新石川一丁目、新石川二丁目一部	山内小学校	新石川一丁目 20 - 1
37	新石川二丁目一部、新石川三丁目、四丁目	新石川小学校	新石川三丁目 12 - 1
38	美しが丘一丁目一部、美しが丘二丁目一部	美しが丘東小学校	美しが丘二丁目 25
39	美しが丘一丁目一部、美しが丘二丁目一部	美しが丘小学校 ☒	美しが丘二丁目 29
40	美しが丘二丁目一部、美しが丘三丁目	美しが丘中学校	美しが丘三丁目 41 - 1
41	美しが丘西一丁目、二丁目、美しが丘西三丁目一部、元石川町の一部	美しが丘西小学校	美しが丘西二丁目 48 - 1
その他の予備的な避難場所		鴨志田中学校 もえぎ野中学校 市ヶ尾中学校 すすき野中学校	鴨志田町 536 もえぎ野 4 - 1 市ヶ尾町 531 - 1 すすき野三丁目 4 - 3

注1) この表は、小・中学校の通学区域(学区)や選挙の投票区域(投票所)とは異なる場合があります。

学区については戸籍課登録担当 ☎978-2231、選挙の投票所については総務課統計選挙係 ☎978-2205 へご確認ください。

注2) 小・中学校が新設された場合は、避難場所も変更になることがあります。

(2) 帰宅困難者一時滞在施設

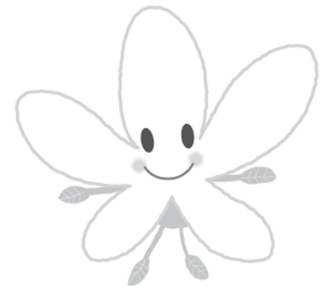
区民の皆様や観光・出張等で横浜を訪れる方々が、外出しているときに帰宅困難となった場合に備え、帰宅困難者一時滞在施設の指定を行っています。ただし、一時滞在施設に指定されていても、被災状況や受入状況によっては、施設に滞在できない事もあります。

駅名	施設名	所在地	駅からの距離	駅からの時間	最大収容人数
たまプラーザ駅	学校法人 國學院大學たまプラーザキャンパス	新石川三丁目 22-1	約 300m	徒歩 4 分	100 人
あざみ野駅 (東急・市営地下鉄)	山内地区センター	あざみ野二丁目 3-2	約 200m	徒歩 3 分	300 人
	アートフォーラムあざみ野	あざみ野南一丁目 17-3	約 400m	徒歩 5 分	300 人
江田駅	品川合同葬祭(株)シティホール江田	あざみ野南一丁目 2-6	約 200m	徒歩 3 分	100 人
市ヶ尾駅	青葉公会堂	市ヶ尾町 31-4	約 700m	徒歩 8 分	1,000 人
藤が丘駅	藤が丘地区センター	藤が丘一丁目 14-95	約 450m	徒歩 5 分	400 人
青葉台駅	大成祭典(株)セレモニーホール大成第2	青葉台二丁目 18-6	約 400m	徒歩 5 分	100 人
田奈駅	多摩田園都市まちづくり館	田奈町 76	約 50m	徒歩 1 分	100 人
こどもの国駅	こどもの国(園内施設)レストラン さんかくぼうし	奈良町 700	約 400m	徒歩 5 分	200 人

※資料:青葉区総務課

15 沿革

昭和	14年	4月	第6次市域拡張により、都筑郡の一部、田奈村、中里村、山内村の3村が横浜市に編入(当時港北区の一部に)	
	39年	8月	東京沼津線(国道246号)開通	
	40年	5月	こどもの国開園	
	41年	4月	田園都市線(溝の口～長津田)開通	
	42年	4月	こどもの国線開通	
	43年	4月	東名高速道路(東京～厚木)開通	
	44年	10月	緑区制施行(港北区から分区)	
	47年	4月	青葉台に「青少年図書館」開館	
	52年	4月	「山内地区センター・山内図書館」開館	
		7月	山内支所誕生(出張所から支所に)	
	57年	7月	「くろがね青少年野外活動センター」開設	
	59年	4月	田園都市線(つきみ野～中央林間)開通	
		12月	緑保健所北部出張所開設	
	61年	11月	緑区役所北部支所開設(人口224,012人、79,755世帯でスタート)	
	62年	11月	「寺家ふるさと村四季の家」開館	
	63年	4月	緑北警察署開設(市ヶ尾町)・(平成6年11月青葉警察署に名称変更)	
	平成	元年	5月	みたけ台に「児童野外活動センター(こどもの杜)」開設
			10月	あざみ野駅行政サービスコーナー開設
			11月	「藤が丘地区センター」開館、「国際交流ラウンジ」開設
			12月	緑税務署新庁舎完成(市ヶ尾町)
3年		7月	「市ヶ尾彫刻のプロムナード」完成(翌年、建設省(現:国土交通省)「手づくり郷土賞」受賞)	
4年		3月	「若草台地区センター」開館	
		4月	「水道局緑北営業所」開業	
		6月	「障害者地域活動ホーム(えだ福祉ホーム)」開設 「荏田地域ケアプラザ」開設	
		12月	「横浜市港北区及び緑区の再編成に関する条例」の制定(新しい4区の区域の確定)	
5年		3月	横浜市営地下鉄、あざみ野駅まで延伸	
		4月	「区民文化センター(フィリアホール)」開館(青葉台) 「こどもログハウス(ロケットハウス)」開設(美しが丘)	
6年		11月	青葉区制施行、人口245,587人、94,198世帯でスタート 青葉消防署、新庁舎にて業務開始	
			「美しが丘西地区センター」開館	
7年		3月	青葉土木事務所現庁舎に移転、業務開始	
		4月	青葉区総合庁舎落成 「青葉公会堂」、「青葉スポーツセンター」開館	



平成	8年	5月	青葉区役所旧庁舎、ボランティア活動拠点として再利用
	9年	10月	青葉区子ども・家庭支援センターが保健所に開設
		12月	「老人福祉センター ユートピア青葉」、「もえぎ野地域ケアプラザ」開設
	10年	3月	東名高速道路、「横浜青葉インターチェンジ」開通
		9月	「奈良地域ケアプラザ」開設
	11年	5月	「青葉台コミュニティハウス」開設
		7月	「横浜地方法務局青葉出張所」開設(川和出張所から移転)
		12月	「さつきが丘地域ケアプラザ」開設
	12年	3月	「横浜青葉スポーツ広場」開設
			こどもの国線通勤線化 同時に恩田駅開業
		4月	「奈良地区センター」開館
	13年	2月	「大場みすずが丘地区センター」開館
		11月	「美しが丘地域ケアプラザ」開設
	14年	1月	「大場地域ケアセンター」開設
		7月	「青葉の風」(中途障がい者地域活動センター)開設
	16年	1月	「鴨志田地域ケアプラザ」開設
		11月	青葉区制10周年
	17年	3月	青葉区区民交流センター「田奈ステーション」開設
		4月	青葉区福祉保健活動拠点「ふれあい青葉」開設
		10月	「アートフォーラムあざみ野」開館
	19年	4月	「横浜市立黒須田小学校」開校
		5月	人口30万人に到達
			「まちのルールづくり相談センター」開設
		6月	「みたけ台コミュニティハウス」開設
	20年	11月	「ビオラ市が尾地域ケアプラザ」開設
	21年	4月	青葉区マスコット制定・谷本公園一部開園
		11月	青葉区制15周年
	22年	1月	「区内にキャンパスを有する6つの大学との連携・協力に関する協定」の締結
	23年	3月	「あおば地域活動ホームすてっぷ・青葉台地域ケアプラザ」開設
		4月	「横浜市立あかね台中学校」開校
		7月	「青葉台消防出張所」開所
		8月	青葉区地域子育て支援拠点「ラファール」開設
		12月	「奈良消防出張所」開所
	24年	1月	「恩田地域ケアプラザ」開設
	25年	3月	「たまプラザ地域ケアプラザ」開設
		4月	「横浜市立美しが丘西小学校」開校





これであなたも青葉区マスター

○横浜市統計ポータルサイト

横浜市のデータや、より詳しい青葉区のデータを調べたい時にご利用ください♪

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/>

○青葉区のホームページ

区役所の利用方法からイベント情報まで

青葉区内の様々な情報がつまっています！

<http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/>

○広報テレビ番組「あおバリューTV from 丘の横浜」

青葉区大好きなリポーターが、青葉区の「ステキな人やモノ」をお伝えします。

ケーブルテレビ イッツコムチャンネル11ch/J:COMチャンネル11ch

青葉区のホームページからもご覧いただけます。



○青葉区メールマガジン「あお☆mag」に登録しよう！

区役所からのお知らせを、毎月メールでお届けします。広報紙にはない「あお☆mag」だけの情報も！登録はすぐにできます♪

○ラジオで青葉区の情報をお聴こう！FMサルース（84.1MHz）

区役所からのお知らせや防災情報など、知っていれば必ず役に立つ青葉区の耳よりな情報をお伝えしています！青葉区ホームページからもお聴きいただけます♪

○青葉区犯罪発生情報メール

区内で発生した犯罪に関する情報をメールで配信します。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/OOlife/14bohan/mail.html>

○ツイッター（Twitter）

区役所からツイッター（Twitter）による情報を発信中。身近な情報をはじめ、防災関連情報、緊急情報などいろいろな情報をお知らせしています。

http://twitter.com/yokohama_aobaku



輝け未来

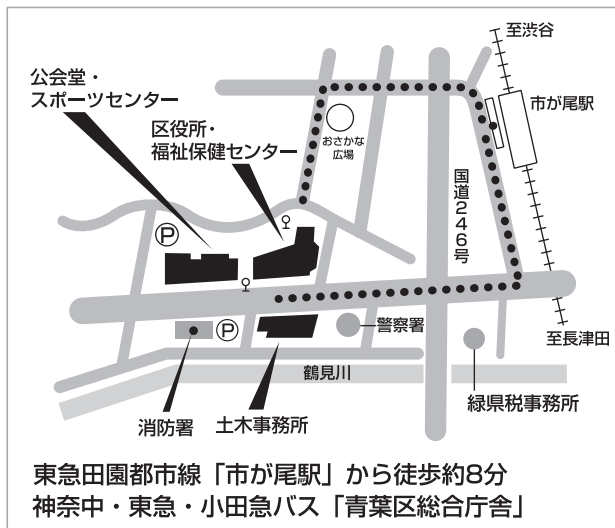
20

WE ♥ AOBA

平成26年

20thのAOBA

区役所案内図



なるほどあおば2014
～データで見る青葉区～

発行：平成26年7月

編集：青葉区役所総務課

発行者：青葉区役所総務課

〒225-0024

横浜市青葉区市ケ尾町31-4

印刷：吾妻印刷株式会社